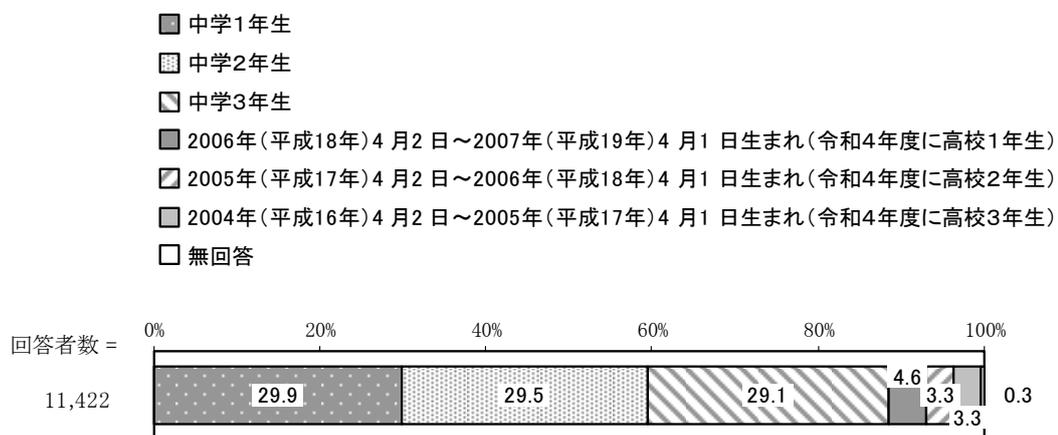


2 中高生調査

項目1 基本情報

問1 あなたの学年、または生年月日を教えてください。
(あてはまる番号を1つ選んでください)

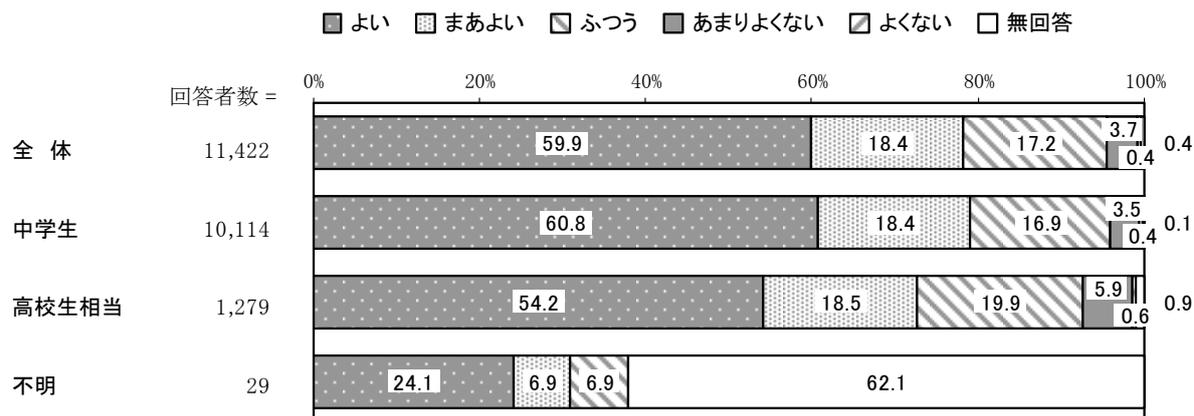


問2 あなたの体調について教えてください。
(あてはまる番号を1つ選んでください)

全体では、「よい」と「まあよい」をあわせた割合が78.3%、「ふつう」の割合が17.2%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた割合が4.1%となっている。

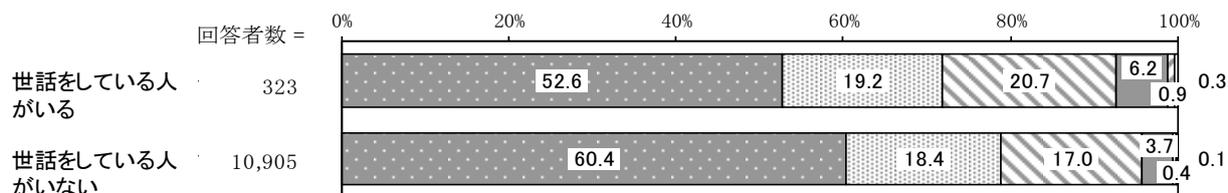
中学生では、「よい」と「まあよい」をあわせた割合が79.2%、「ふつう」の割合が16.9%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた割合が3.9%となっている。

高校生相当では、「よい」と「まあよい」をあわせた割合が72.7%、「ふつう」の割合が19.9%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた割合が6.5%となっている。



【世話の有無別】

世話の有無別で見ると、「世話をしている人がいない」に比べ、「世話をしている人がいる」で「よい」の割合が低くなっている。

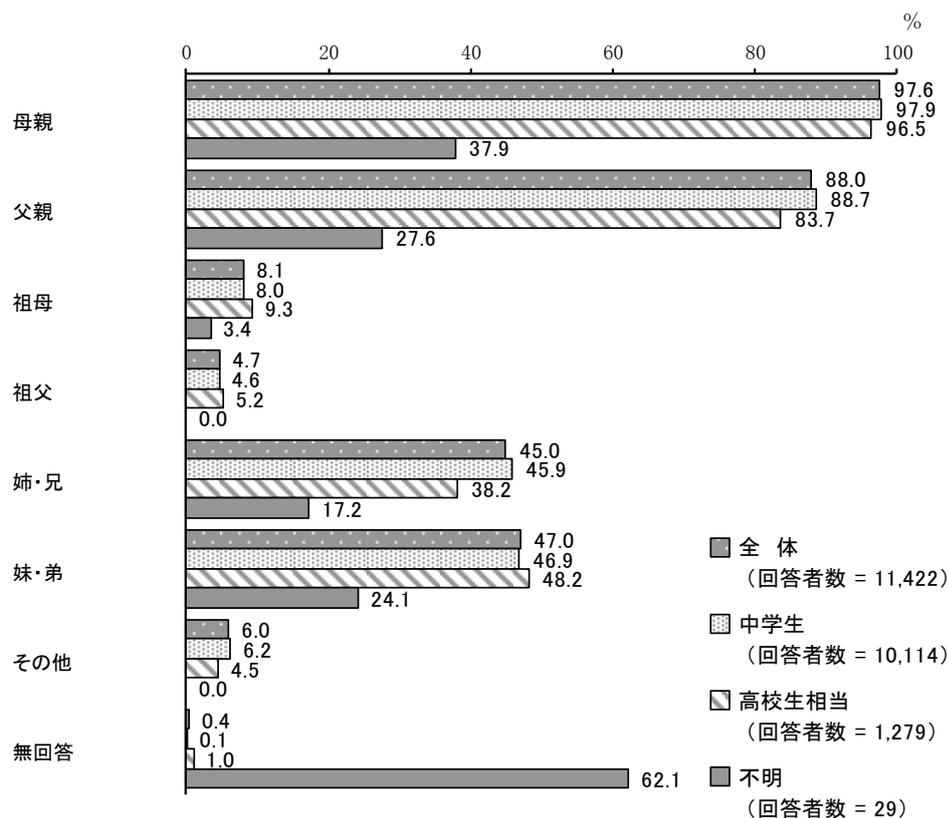


問3 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。
(あてはまる番号をすべて選んでください)

全体では、「母親」の割合が97.6%と最も高く、次いで「父親」の割合が88.0%、「妹・弟」の割合が47.0%となっている。

中学生では、「母親」の割合が97.9%と最も高く、次いで「父親」の割合が88.7%、「妹・弟」の割合が46.9%となっている。

高校生相当では、「母親」の割合が96.5%と最も高く、次いで「父親」の割合が83.7%、「妹・弟」の割合が48.2%となっている。



<中学生 その他意見>

- ・児童養護施設

<高校生相当 その他意見>

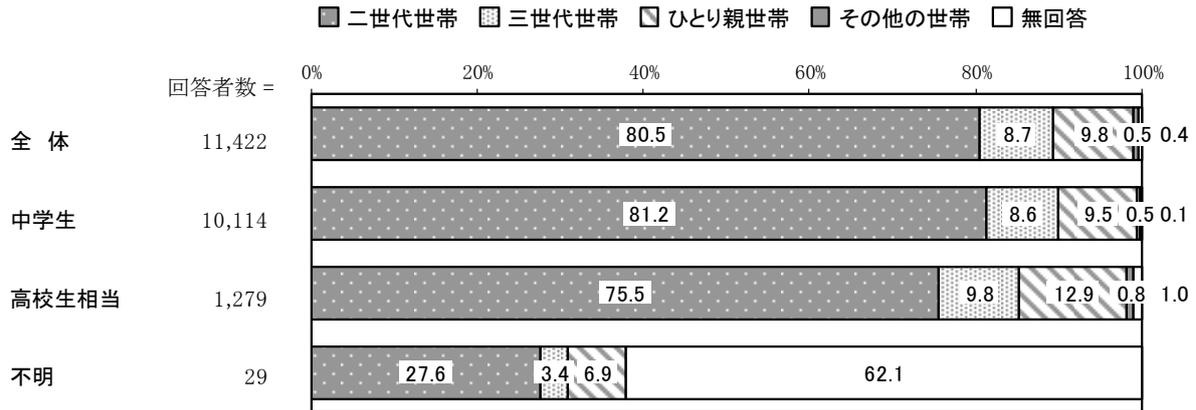
- ・児童養護施設
- ・寮

<世帯構成>

全体では、同居家族から世帯構成をみると、「二世帯世帯」の割合が80.5%と最も高く、次いで「ひとり親世帯」の割合が9.8%となっている。

中学生では、「二世帯世帯」の割合が81.2%と最も高く、次いで「ひとり親世帯」の割合が9.5%となっている。

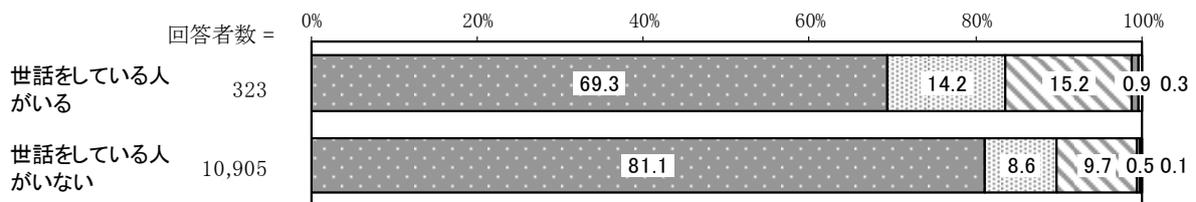
高校生相当では、「二世帯世帯」の割合が75.5%と最も高く、次いで「ひとり親世帯」の割合が12.9%となっている。



世帯	同居する家族
二世帯世帯	母親、父親、兄・姉、弟・妹、その他（ペットなど）
三世帯世帯	母親、父親、祖母、祖父、兄・姉、弟・妹、その他（親戚、ペットなど）
ひとり親世帯	母親/父親のいずれか、祖母、祖父、兄・姉、弟・妹、その他（親戚、ペットなど）
その他の世帯	祖母、祖父、その他（親戚、施設など）

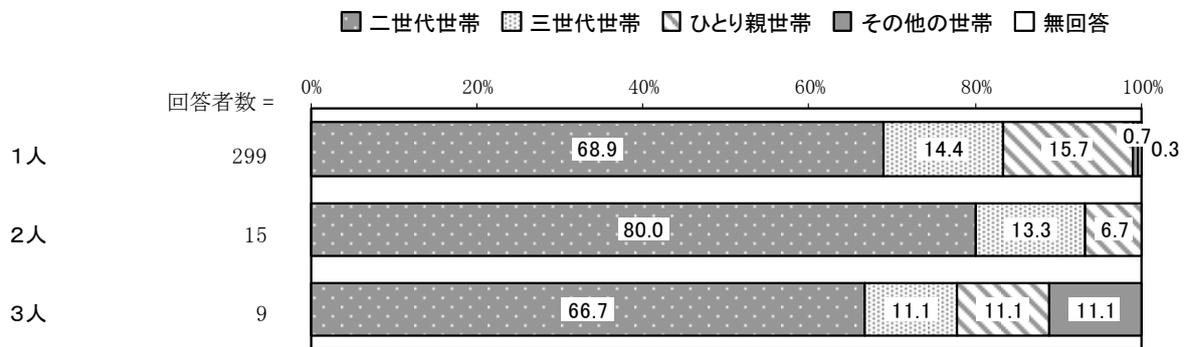
【世話の有無別】

世話の有無別でみると、「世話をしている人がいない」に比べ、「世話をしている人がいる」で「三世帯世帯」、「ひとり親世帯」の割合が高くなっている。



【世話をしている人の人数別】

「世話をしている人がいる」について、世話をする人の人数別で見ると、他に比べ、「1人」で「ひとり親世帯」の割合が高くなっている。



項目2 ふだんの生活について教えてください。

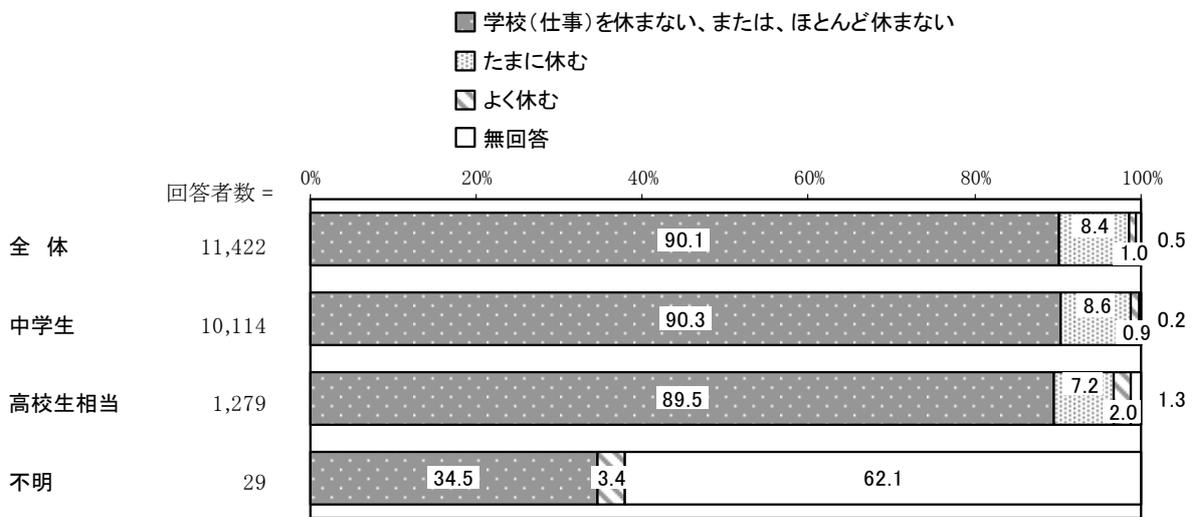
問4 学校や仕事の出席（出勤）状況を教えてください。
（あてはまる番号を1つ選んでください）

<出席状況>

全体では、「学校（仕事）を休まない、または、ほとんど休まない」の割合が90.1%と最も高くなっている。

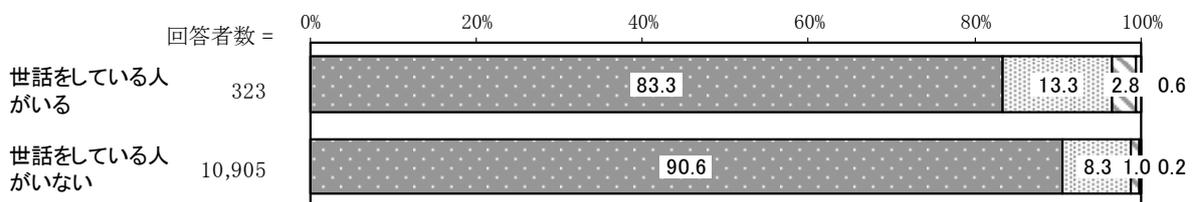
中学生では、「学校（仕事）を休まない、または、ほとんど休まない」の割合が90.3%と最も高くなっている。

高校生相当では、「学校（仕事）を休まない、または、ほとんど休まない」の割合が89.5%と最も高くなっている。



【世話の有無別】

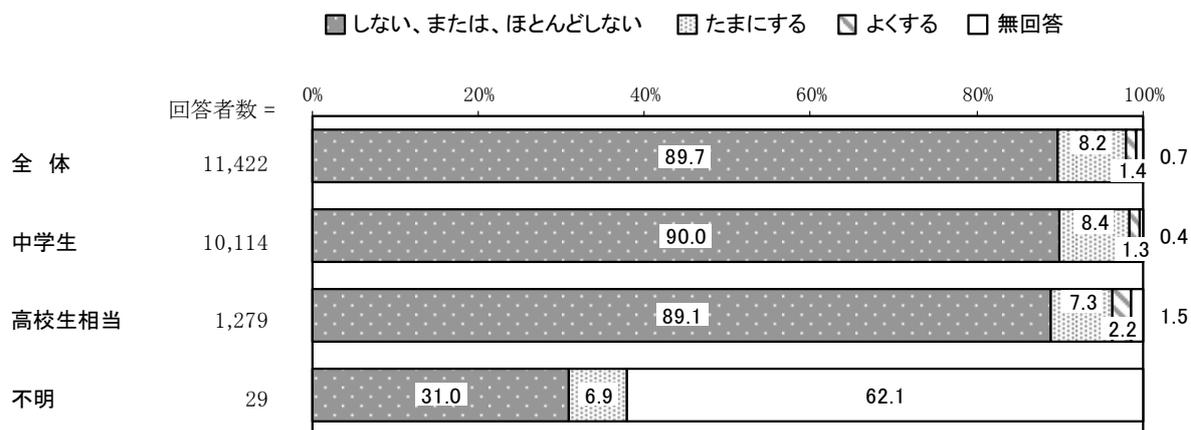
世話の有無別で見ると、「世話をしている人がいない」に比べ、「世話をしている人がいる」で「たまに休む」の割合が高くなっている。



問5 学校や仕事での遅刻や早退の状況を教えてください。
(あてはまる番号を1つ選んでください)

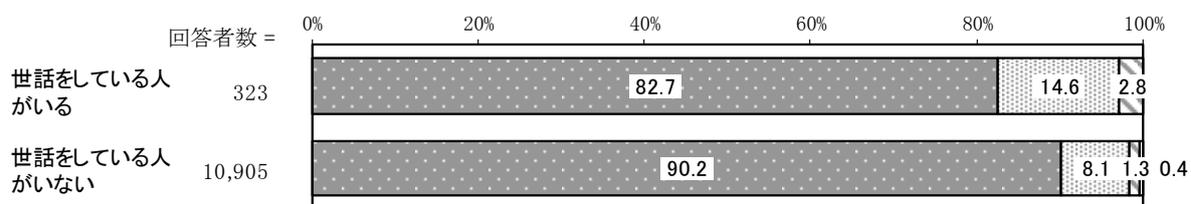
<遅刻や早退の状況>

全体では、「しない、または、ほとんどしない」の割合が89.7%と最も高くなっている。
 中学生では、「しない、または、ほとんどしない」の割合が90.0%と最も高くなっている。
 高校生相当では、「しない、または、ほとんどしない」の割合が89.1%と最も高くなっている。



【世話の有無別】

世話の有無別で見ると、「世話をしている人がいない」に比べ、「世話をしている人がいる」で「たまにする」の割合が高くなっている。

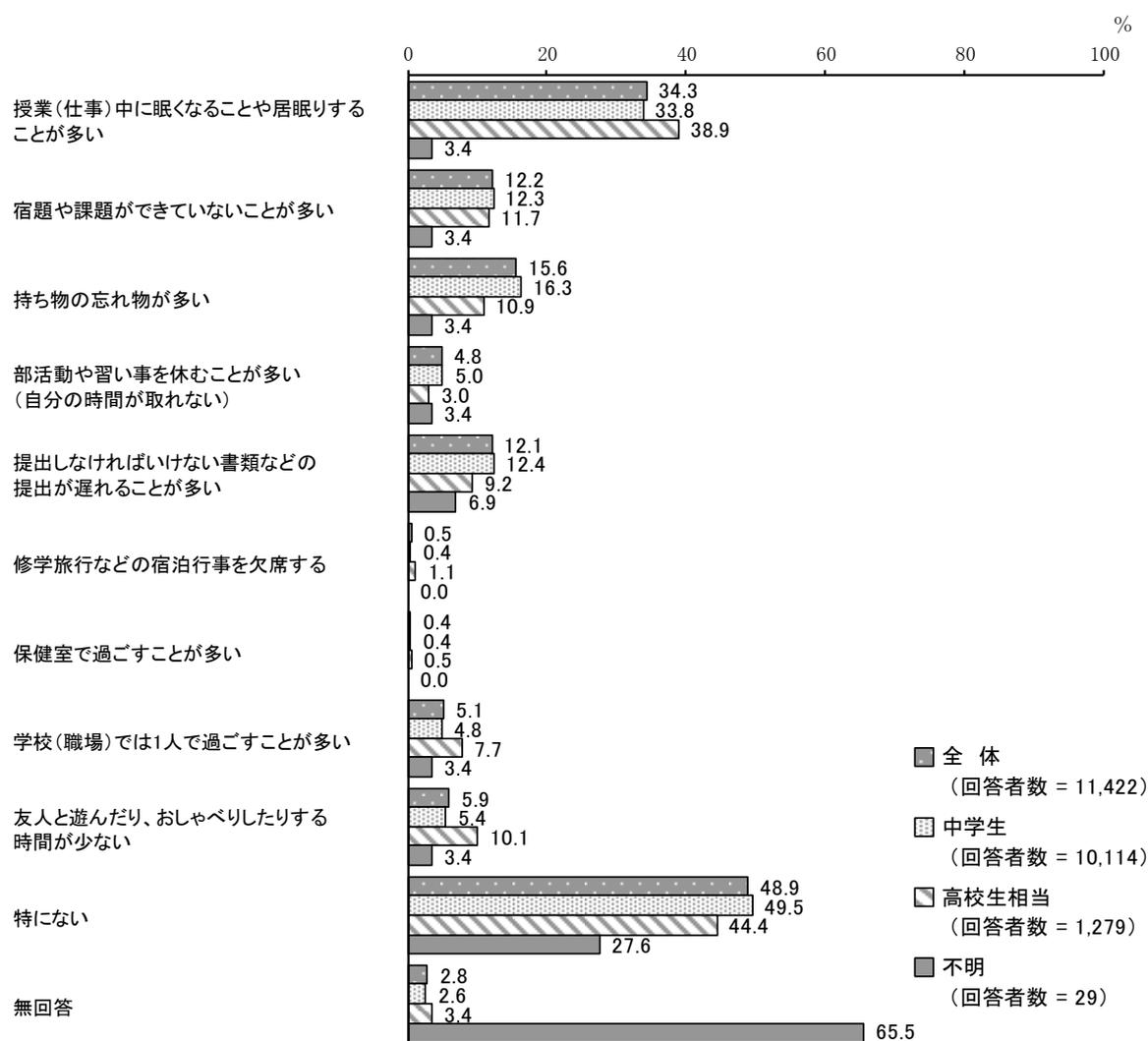


**問6 ふだんの学校（職場）生活などで、あてはまるものはありますか。
（あてはまる番号をすべて選んでください）**

全体では、「特にない」以外の回答では「授業（仕事）中に眠くなることや居眠りすることが多い」の割合が34.3%と最も高く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」の割合が15.6%となっている。

中学生では、「特にない」以外の回答では「授業（仕事）中に眠くなることや居眠りすることが多い」の割合が33.8%と最も高く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」の割合が16.3%となっている。

高校生相当では、「特にない」以外の回答では「授業（仕事）中に眠くなることや居眠りすることが多い」の割合が38.9%と最も高く、次いで「宿題や課題ができていないことが多い」の割合が11.7%となっている。



【世話の有無別】

世話の有無別でみると、「世話をしている人がいない」に比べ、「世話をしている人がいる」で「授業中に居眠りすることが多い」、「宿題や課題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」の割合が高くなっている。

単位：％

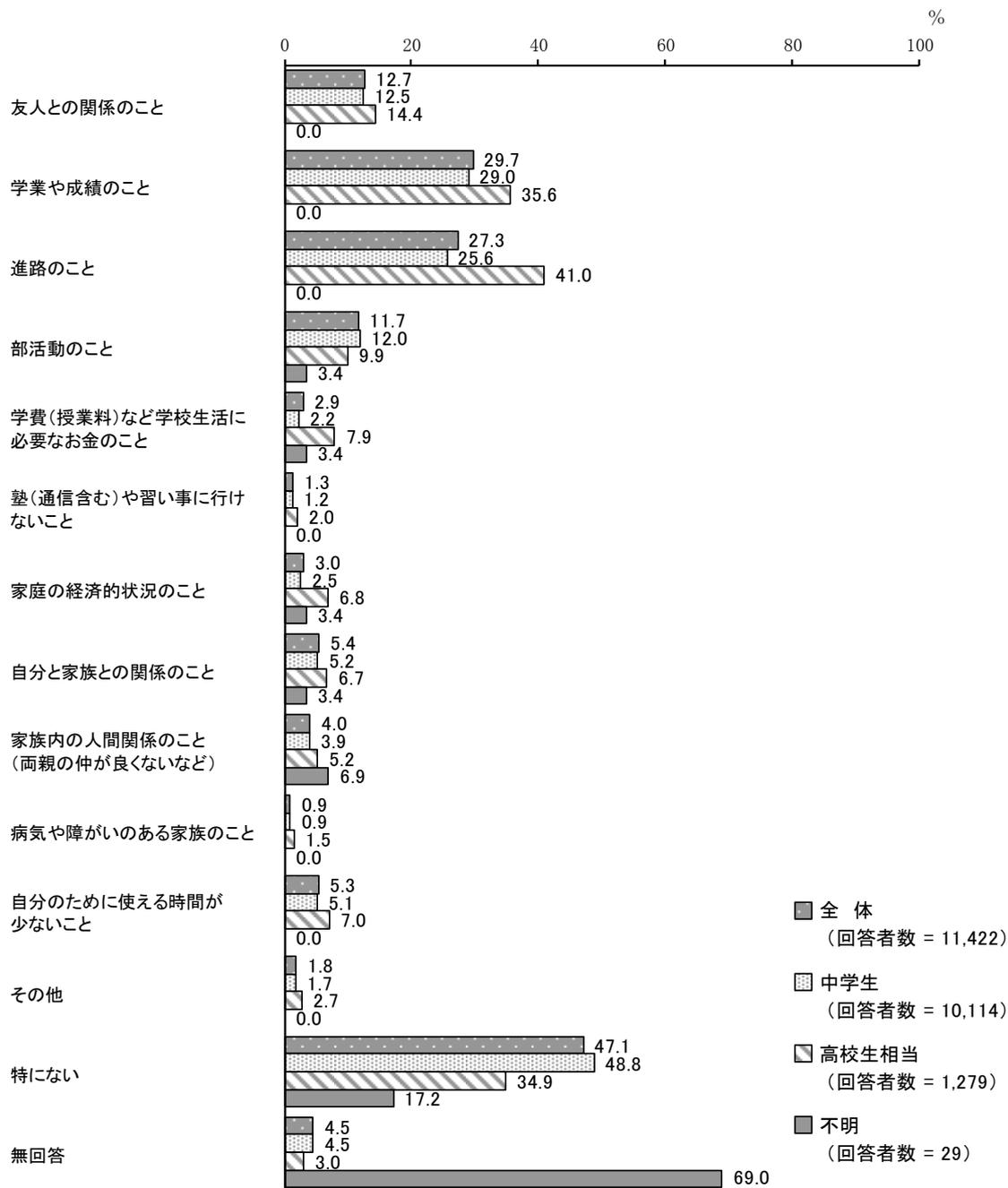
区分	回答者数(件)	授業(仕事)中に眠くなることや居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い(自分の時間が取れない)	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校(職場)では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
世話をしている人がいる	323	44.0	23.5	24.1	9.6	23.5	2.2	0.9	9.9	10.5	33.7	1.2
世話をしている人がいない	10905	34.2	11.9	15.4	4.6	11.8	0.5	0.4	5.0	5.8	49.7	2.3

**問7 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。
(あてはまる番号をすべて選んでください)**

全体では、「学業や成績のこと」の割合が 29.7%、「進路のこと」の割合が 27.3%となっている。また、「特にない」の割合は 47.1%となっている。

中学生では、「学業や成績のこと」の割合が 29.0%、「進路のこと」の割合が 25.6%となっている。また、「特にない」の割合は 48.8%となっている。

高校生相当では、「進路のこと」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「学業や成績のこと」の割合が 35.6%となっている。また、「特にない」の割合が 34.9%となっている。



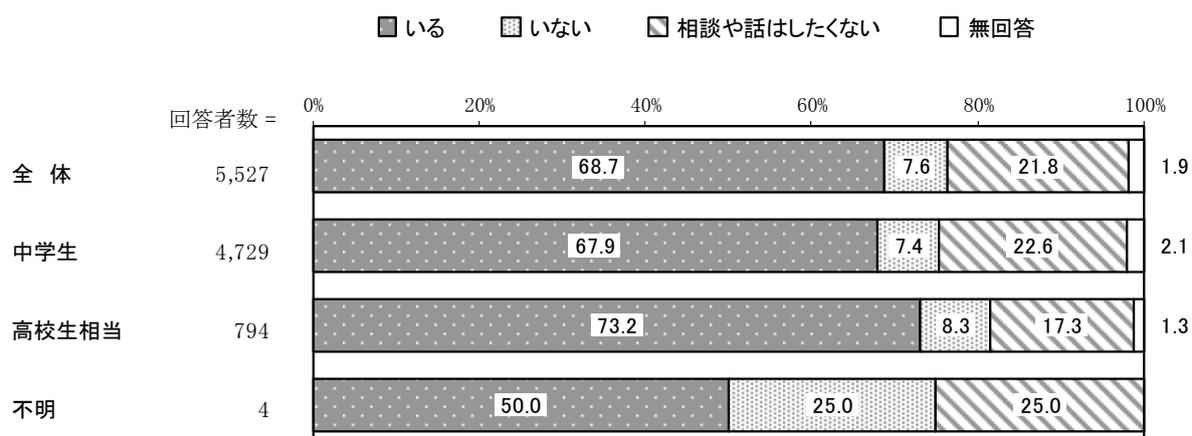
問8は問7で1～12（友人との関係のこと～その他）のどれかを回答した人にお聞きします。

問8 回答した悩みや困りごとについて、相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいますか。（あてはまる番号を1つ選んでください）

全体では、「いる」の割合が68.7%と最も高く、次いで「相談や話はしたくない」の割合が21.8%となっている。

中学生では、「いる」の割合が67.9%と最も高く、次いで「相談や話はしたくない」の割合が22.6%となっている。

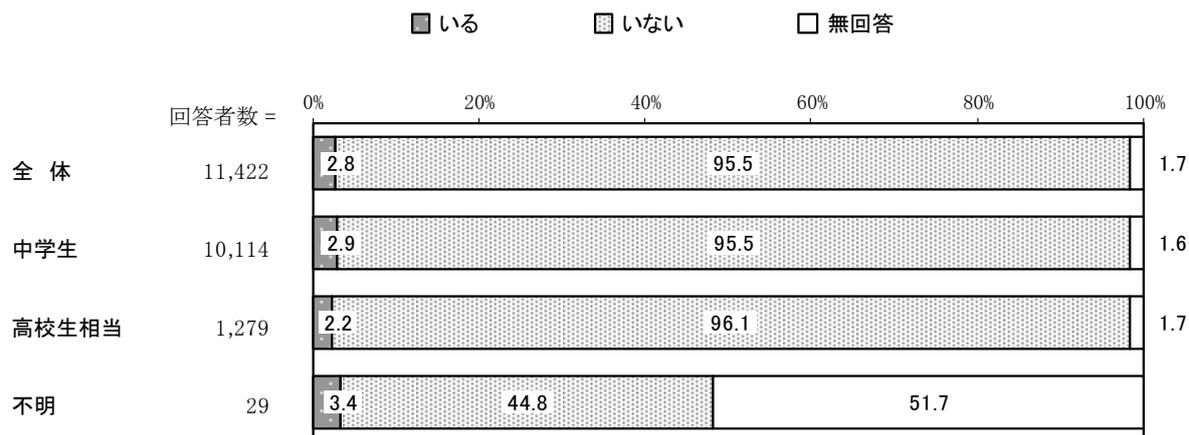
高校生相当では、「いる」の割合が73.2%と最も高く、次いで「相談や話はしたくない」の割合が17.3%となっている。



項目3 家庭や家族のことについて教えてください。

問9 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。
 (あてはまる番号を1つ選んでください)

全体では、「いる」の割合が2.8%、「いない」の割合が95.5%となっている。
 中学生では、「いる」の割合が2.9%、「いない」の割合が95.5%となっている。
 高校生相当では、「いる」の割合が2.2%、「いない」の割合が96.1%となっている。



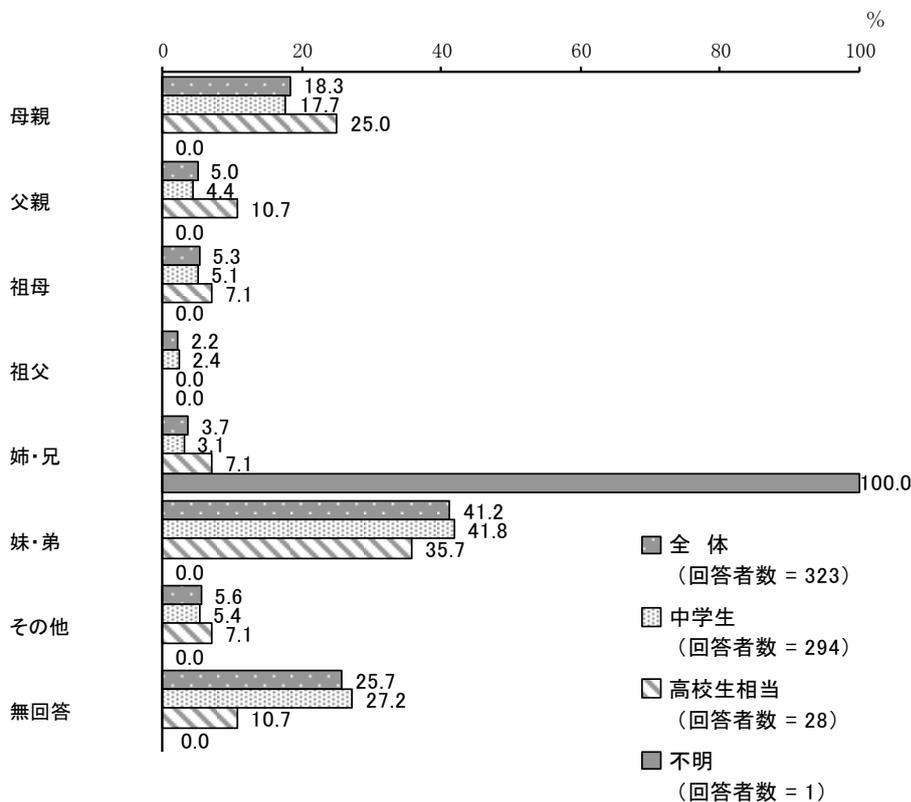
問10は、問9で「いる」と回答した人にお聞きします。

問10 お世話の状況について、
 (ア) あなたがお世話をしている人
 (イ) その人の状況（お世話が必要な理由）
 (ウ) あなたがその人にしているお世話の内容
 (エ) その人のお世話を一緒にしている人
 を教えてください。
 ※お世話を必要としている人が1人ではなく他にもいる場合は、問10-2、問10-3も答えてください。

※以下の集計は、問10-1、問10-2、問10-3を合算している。

(ア) あなたがお世話をしている人（あてはまる番号を1つ選んでください）

全体では、「妹・弟」の割合が41.2%と最も高く、次いで「母親」の割合が18.3%となっている。
 中学生では、「妹・弟」の割合が41.8%と最も高く、次いで「母親」の割合が17.7%となっている。
 高校生相当では、「妹・弟」の割合が35.7%と最も高く、次いで「母親」の割合が25.0%となっている。



<中学生 その他意見>

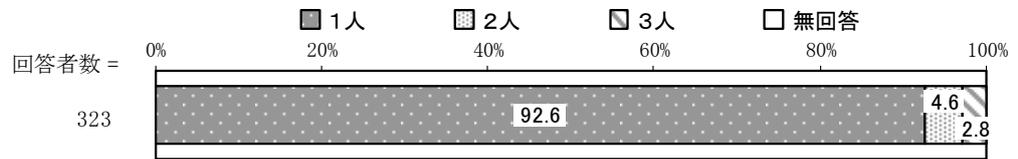
- ・いとこ
- ・ペット 等

<高校生相当 その他意見>

- ・ペット 等

<世話をしている人の人数>

世話をしている人の人数については、「1人」の割合が92.6%となっている。

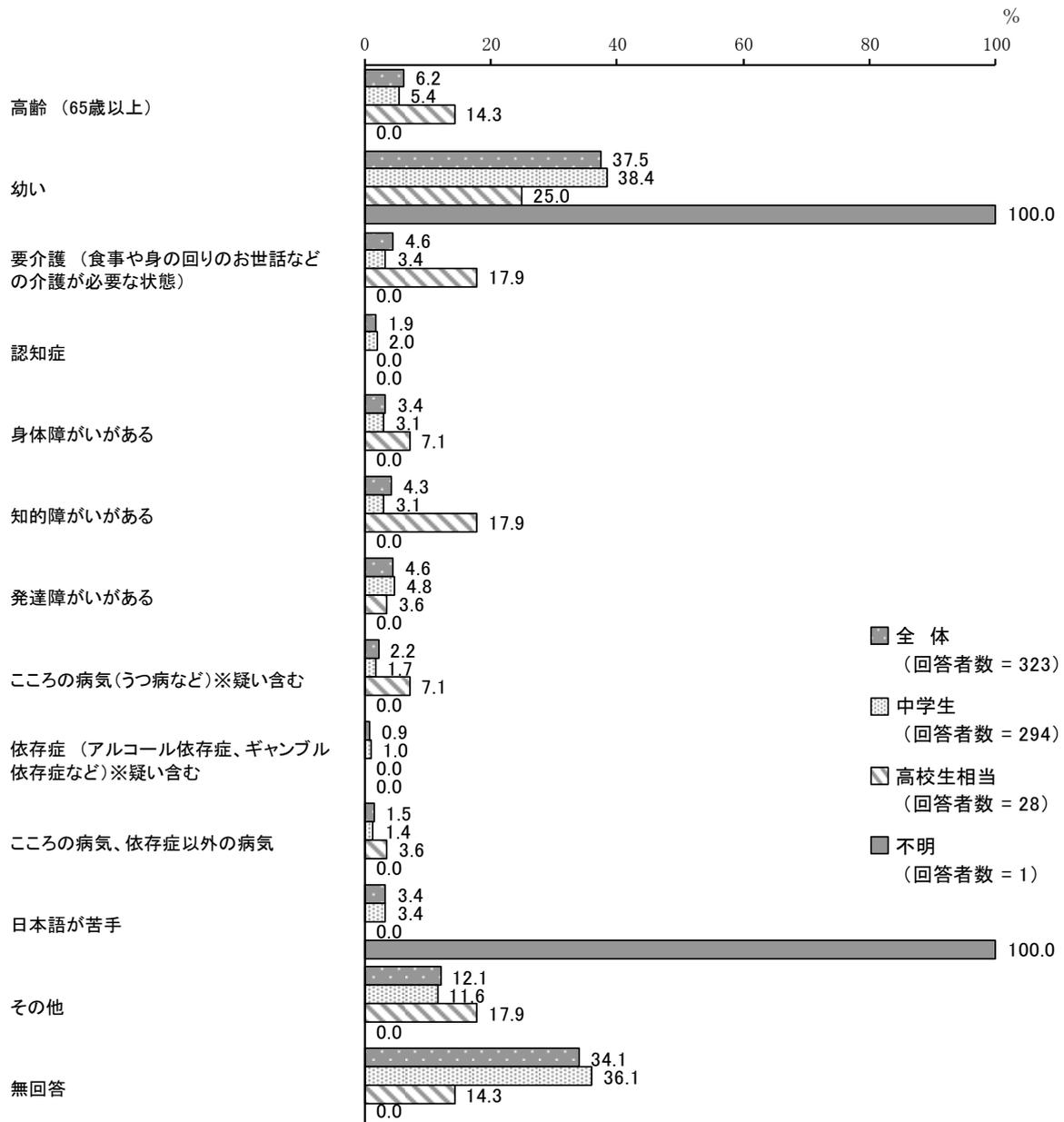


(イ) その人の状況（お世話が必要な理由）（あてはまる番号をすべて選んでください）

全体では、「若い」の割合が37.5%と最も高くなっている。

中学生では、「若い」の割合が38.4%と最も高くなっている。

高校生相当では、「若い」の割合が25.0%と最も高く、次いで「要介護（食事や身の回りのお世話などの介護が必要な状態）」、「知的障がいがある」の割合が17.9%、「高齢（65歳以上）」の割合が14.3%となっている。



<中学生 その他意見>

- ・仕事で疲れている

<高校生相当 その他意見>

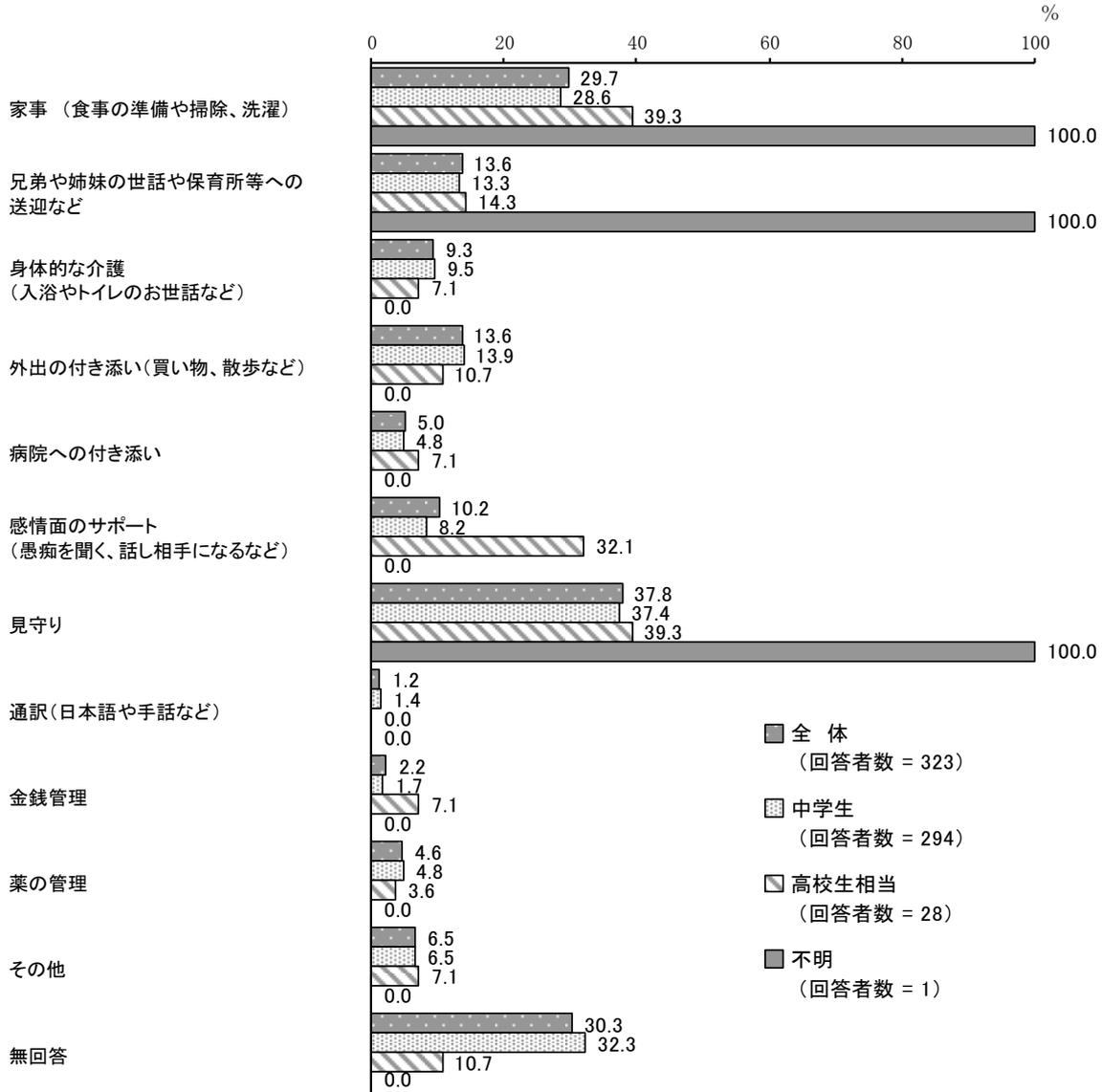
- ・自分で何もしようとしないため（浪人中、スマホ中毒、多動症）

(ウ) あなたがその人にしているお世話の内容（あてはまる番号をすべて選んでください）

全体では、「見守り」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が 29.7%となっている。

中学生では、「見守り」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が 28.6%となっている。

高校生相当では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」の割合が 32.1%となっている。



<中学生 その他意見>

- ・ 車椅子を押している
- ・ 宿題を教えている
- ・ ご飯をあげている 等

【世話の対象者別】

世話の対象者別で世話の内容をみると、他に比べ、「母親」、「父親」、「祖母」で「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が、「祖父」、「姉・兄」、「妹・弟」で「見守り」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	回答者数（件）	家事 （食事の準備や掃除、洗濯）	兄弟や姉妹の世話や保育所等への 送迎など	身体的な介護 （入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い （買い物、散歩など）	病院への付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、 話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
母親	59	64.4	11.9	5.1	16.9	10.2	16.9	16.9	5.1	5.1	11.9	3.4	16.9
父親	16	37.5	25.0	-	12.5	6.3	18.8	31.3	-	-	6.3	12.5	18.8
祖母	17	58.8	-	5.9	29.4	17.6	35.3	35.3	5.9	5.9	23.5	5.9	-
祖父	7	42.9	-	28.6	14.3	14.3	-	71.4	-	14.3	28.6	-	-
姉・兄	12	33.3	16.7	8.3	16.7	-	8.3	66.7	-	-	-	-	8.3
妹・弟	133	28.6	25.6	14.3	17.3	2.3	11.3	66.2	-	1.5	1.5	3.8	3.0
その他	18	16.7	-	22.2	5.6	11.1	-	33.3	-	-	-	61.1	16.7

【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、「二世帯世帯」、「三世帯世帯」で「見守り」の割合が高くなっている。また、「ひとり親世帯」で「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が高くなっている。

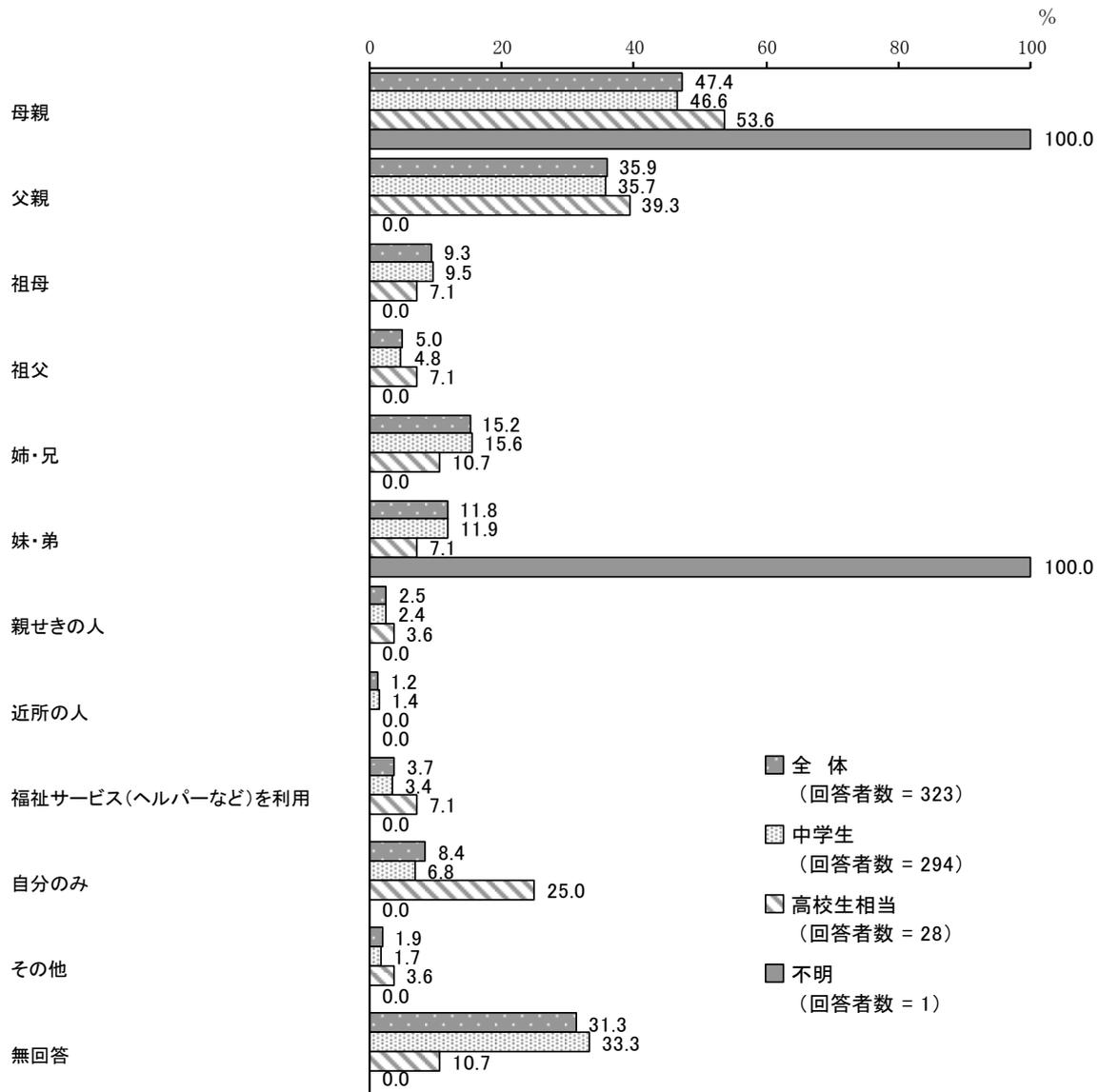
単位：％

区分	回答者数（件）	家事 （食事の準備や掃除、洗濯）	兄弟や姉妹の世話や保育所等への 送迎など	身体的な介護 （入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い （買い物、散歩など）	病院への付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、 話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
二世帯世帯	224	26.3	15.2	9.4	13.8	3.6	7.6	40.2	1.8	1.3	3.6	5.8	30.8
三世帯世帯	46	28.3	6.5	10.9	13.0	8.7	17.4	34.8	-	6.5	13.0	6.5	34.8
ひとり親世帯	49	44.9	12.2	8.2	14.3	6.1	14.3	30.6	-	2.0	2.0	10.2	24.5
その他の世帯	3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3

(エ) その人のお世話を一緒にしている人（あてはまる番号をすべて選んでください）

全体では、「母親」の割合が47.4%と最も高く、次いで「父親」の割合が35.9%となっている。
 中学生では、「母親」の割合が46.6%と最も高く、次いで「父親」の割合が35.7%となっている。

高校生相当では、「母親」の割合が53.6%と最も高く、次いで「父親」の割合が39.3%となっている。

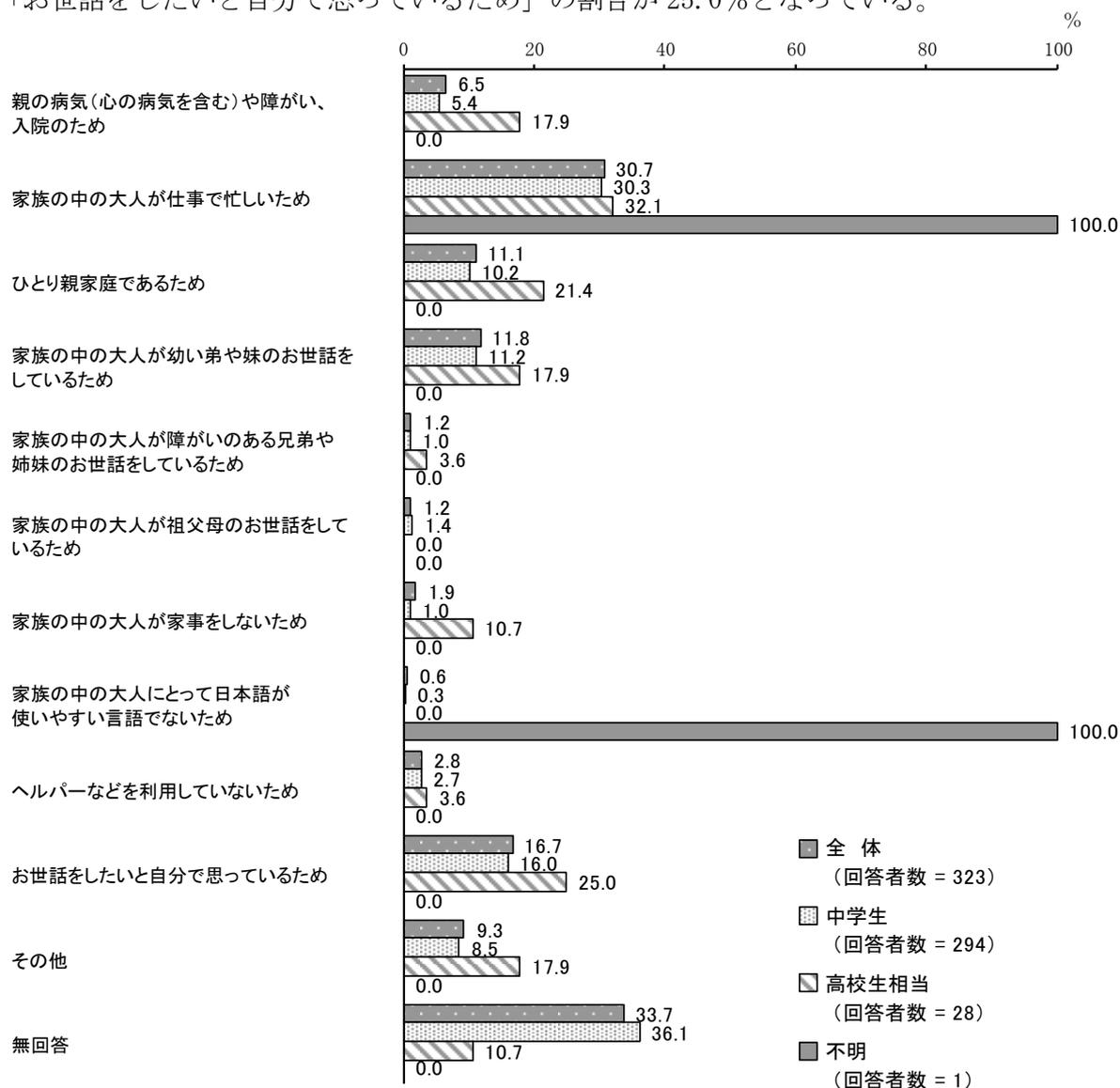


問 1 1 あなたがお世話をする理由を教えてください。
(あてはまる番号をすべて選んでください)

全体では、「家族の中の大人が仕事で忙しいため」の割合が 30.7%と最も高い。また、「お世話をしたいと自分で思っているため」の割合が 16.7%となっている。

中学生では、「家族の中の大人が仕事で忙しいため」の割合が 30.3%と最も高い。また、「お世話をしたいと自分で思っているため」の割合が 16.0%となっている。

高校生相当では、「家族の中の大人が仕事で忙しいため」の割合が 32.1%と最も高い。また、「お世話をしたいと自分で思っているため」の割合が 25.0%となっている。



<中学生 その他意見>

- ・親が忙しいから
- ・親に頼まれるから
- ・お手伝いが楽しいから 等

<高校生相当 その他意見>

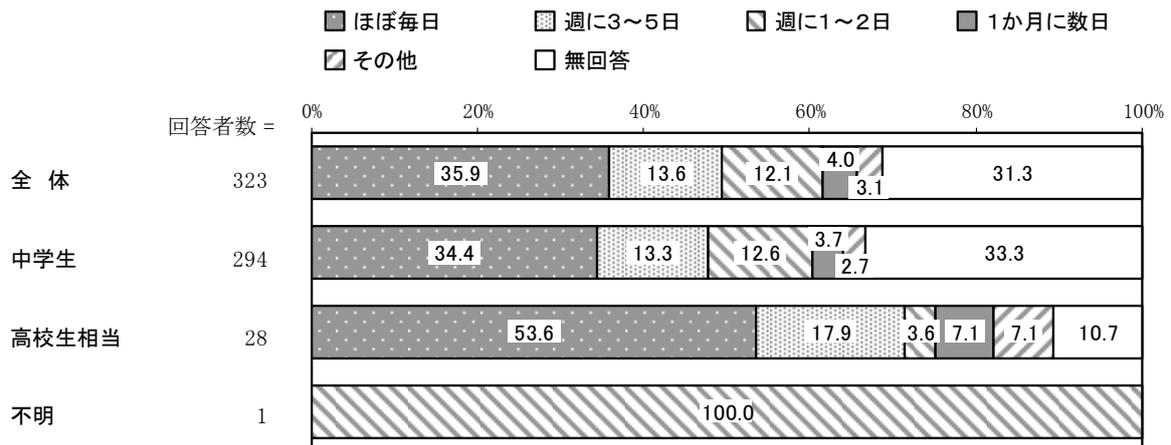
- ・なるべく少しでも妹の精神状態が和らぐように
- ・世話しないと家庭環境が悪化するため、妹弟は無視なので仕方なく私がしている 等

問12 あなたはどのくらいお世話をしていますか。
(あてはまる番号を1つ選んでください)

全体では、「ほぼ毎日」の割合が35.9%と最も高く、次いで「週に3～5日」の割合が13.6%となっている。

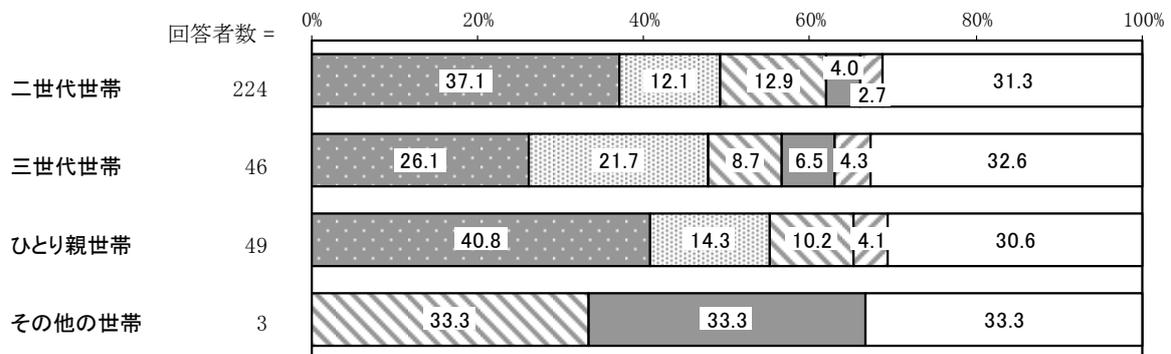
中学生では、「ほぼ毎日」の割合が34.4%と最も高く、次いで「週に3～5日」の割合が13.3%となっている。

高校生相当では、「ほぼ毎日」の割合が53.6%と最も高く、次いで「週に3～5日」の割合が17.9%となっている。



【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、他に比べ、「ひとり親世帯」で「ほぼ毎日」の割合が、「三世帯世帯」で「週に3～5日」の割合が高くなっている。

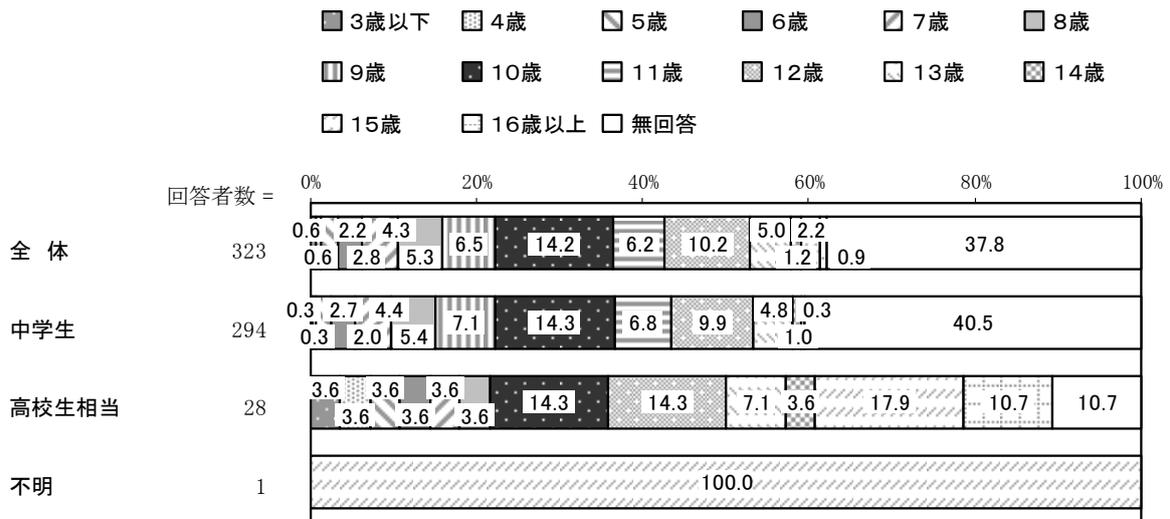


問13 あなたはいつごろから家族のお世話をしていますか。お世話を始めた年齢を教えてください。(はっきりわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません)

全体では、「10歳」の割合が14.2%と最も高く、次いで「12歳」の割合が10.2%となっている。

中学生では、「10歳」の割合が14.3%と最も高く、次いで「12歳」の割合が9.9%となっている。

高校生相当では、「15歳」の割合が17.9%と最も高く、次いで「10歳」、「12歳」の割合が14.3%となっている。

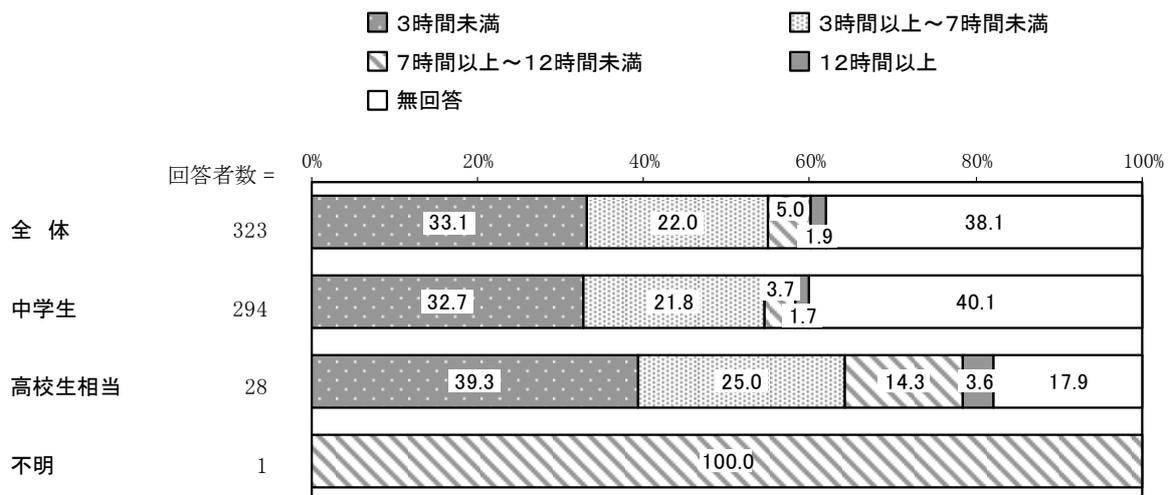


問 1 4 学校や仕事のある平日にお世話はどのくらい行っていますか。時間数をお答えください。（日によって異なる場合は、この1か月の中で最も長かった日の時間をお答えください）

全体では、「3時間未満」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「3時間以上～7時間未満」の割合が 22.0%となっている。

中学生では、「3時間未満」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「3時間以上～7時間未満」の割合が 21.8%となっている。

高校生相当では、「3時間未満」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「3時間以上～7時間未満」の割合が 25.0%となっている。

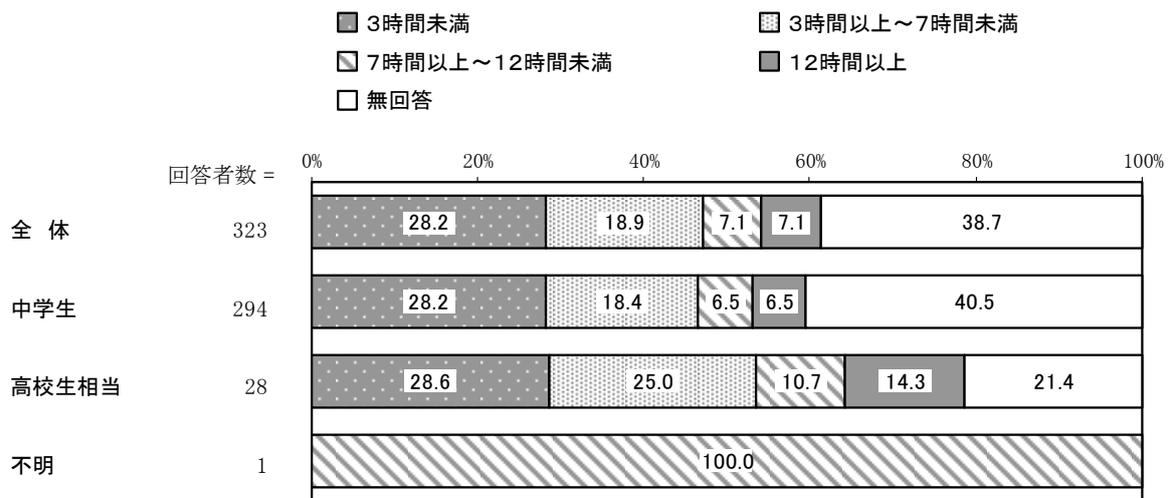


問 1 5 休日にお世話はどのくらい行っていますか。時間数をお答えください。
 (日によって異なる場合は、この1か月の中で最も長かった日の時間をお答えください)

全体では、「3時間未満」の割合が28.2%と最も高く、次いで「3時間以上～7時間未満」の割合が18.9%となっている。

中学生では、「3時間未満」の割合が28.2%と最も高く、次いで「3時間以上～7時間未満」の割合が18.4%となっている。

高校生相当では、「3時間未満」の割合が28.6%と最も高く、次いで「3時間以上～7時間未満」の割合が25.0%となっている。

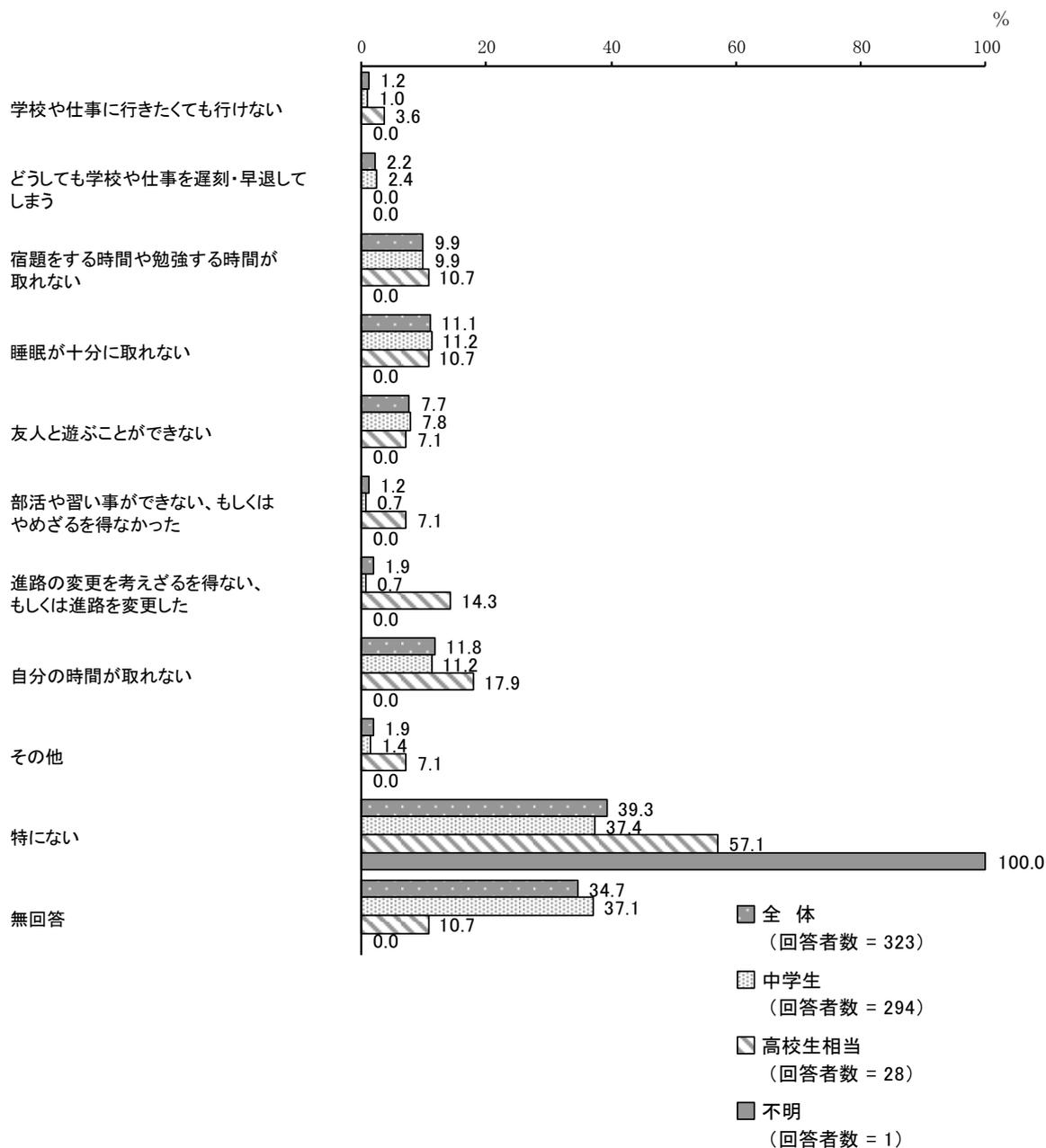


**問 16 お世話をしていることで自分の生活にどのような影響が出ていると思いますか。
(あてはまる番号をすべて選んでください)**

全体では、「自分の時間が取れない」の割合が 11.8%と最も高く、次いで「睡眠が十分に取れない」の割合が 11.1%となっている。また、「特にない」の割合は 39.3%となっている。

中学生では、「睡眠が十分に取れない」、「自分の時間が取れない」の割合が 11.2%と最も高くなっている。また、「特にない」の割合は 37.4%となっている。

高校生相当では、「自分の時間が取れない」の割合が 17.9%と最も高く、次いで「進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した」の割合が 14.3%となっている。また、「特にない」の割合は 57.1%となっている。



【平日にお世話を費やす時間別】

平日にお世話を費やす時間別でみると、他に比べ、「3時間以上～7時間未満」、「7時間以上～12時間未満」で「睡眠が十分に取れない」、「自分の時間が取れない」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	回答者数(件)	い 学校や仕事に行きたくても行けな 退してしまう	どうしても学校や仕事を遅刻・早 退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が 取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、 もしくはやめざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、 もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	その他	特 に ない	無 回 答
3時間未満	107	0.9	1.9	12.1	13.1	9.3	0.9	0.9	15.0	4.7	58.9	5.6
3時間以上～7時間未満	71	1.4	4.2	21.1	22.5	18.3	2.8	5.6	23.9	—	54.9	1.4
7時間以上～12時間未満	16	12.5	6.3	18.8	18.8	12.5	—	—	25.0	—	43.8	6.3
12時間以上	6	—	16.7	—	50.0	—	—	—	16.7	16.7	33.3	—

【支援の希望※別】

支援の希望別でみると、「支援を希望しない」に比べ、「支援を希望する」で「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」、「睡眠が十分に取れない」、「自分の時間が取れない」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	回答者数(件)	い 学校や仕事に行きたくても行けな 退してしまう	どうしても学校や仕事を遅刻・早 退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が 取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、 もしくはやめざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、 もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	その他	特 に ない	無 回 答
支援を希望する	86	4.7	4.7	23.3	24.4	16.3	3.5	5.8	30.2	2.3	34.9	12.8
支援を希望しない	135	—	2.2	7.4	6.7	6.7	—	—	6.7	2.2	60.0	17.0

※問21で「自分のことについて話を聞いてほしい」から「その他」まで回答した人を「支援を希望する」、問21で「特にない」と回答した人を「支援を希望しない」としている。

【相談相手の有無別】

相談相手の有無別でみると、他に比べ、「相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいない」で「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	回答者数(件)	い 学校や仕事に行きたくても行けない	どうしても学校や仕事を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくはやめざるを得なかった	もしくは進路を変更した	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	その他	特にな い	無回 答
相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいる	154	1.3	3.2	7.1	13.6	6.5	1.3	1.3	12.3	2.6	37.0	34.4	
相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいない	25	4.0	—	24.0	20.0	4.0	4.0	8.0	20.0	4.0	44.0	20.0	
相談や話はしたくない	48	2.1	—	18.8	16.7	20.8	2.1	4.2	20.8	2.1	31.3	29.2	

【ヤングケアラーの自覚の有無※別】

ヤングケアラーの自覚の有無別でみると、「ヤングケアラーの自覚がない」に比べ、「ヤングケアラーの自覚がある」で「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」、「友人と遊ぶことができない」、「自分の時間が取れない」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	回答者数(件)	い 学校や仕事に行きたくても行けない	どうしても学校や仕事を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくはやめざるを得なかった	もしくは進路を変更した	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	その他	特にな い	無回 答
ヤングケアラーの自覚がある	28	3.6	3.6	32.1	28.6	35.7	10.7	7.1	39.3	3.6	28.6	—	
ヤングケアラーの自覚がない	252	1.2	2.4	8.7	11.1	6.0	0.4	1.6	10.7	2.0	46.8	28.2	

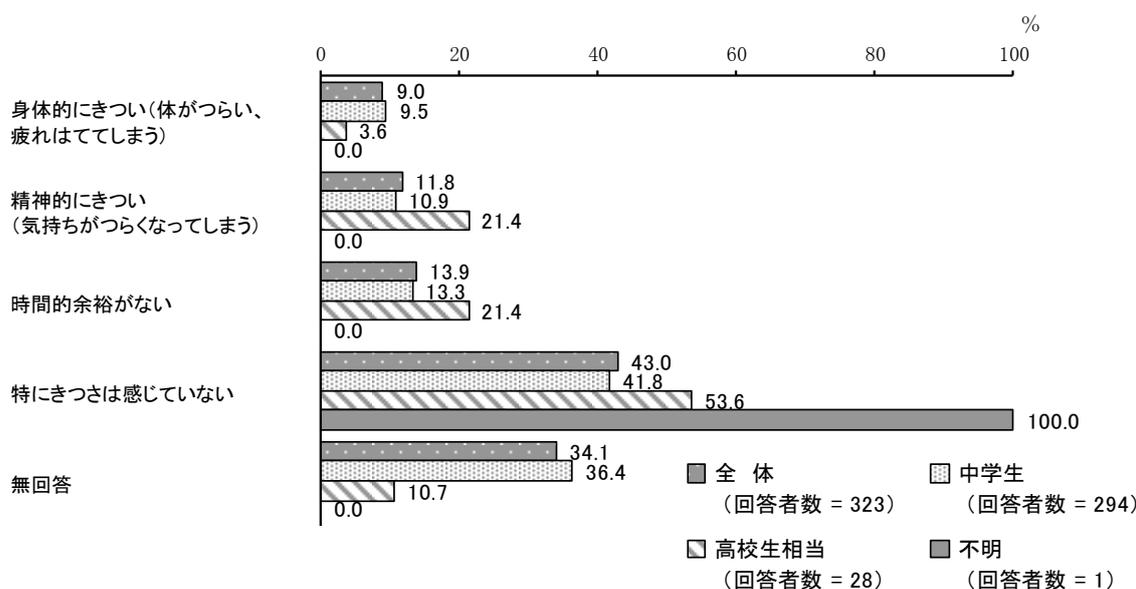
※ヤングケアラーの自覚の有無について、問9で世話をしている人が「いる」と回答し、かつ、問24でヤングケアラーの自覚が「ある」と回答した人を「自覚がある」としている。

**問17 お世話をすることによってきつさを感じていますか。
(あてはまる番号をすべて選んでください)**

全体では、「時間的余裕がない」の割合が13.9%、「精神的にきつい(気持ちがつらくなってしまう)」の割合が11.8%となっている。また、「特にきつさは感じていない」の割合が43.0%となっている。

中学生では、「時間的余裕がない」の割合が13.3%、「精神的にきつい(気持ちがつらくなってしまう)」の割合が10.9%となっている。また、「特にきつさは感じていない」の割合が41.8%となっている。

高校生相当では、「精神的にきつい(気持ちがつらくなってしまう)」、「時間的余裕がない」の割合が21.4%となっている。また、「特にきつさは感じていない」の割合が53.6%となっている。



【世話の頻度別】

世話の頻度別でみると、世話の頻度が高くなるにつれ「精神的にきつい(気持ちがつらくなってしまう)」の割合が高くなっている。また、他に比べ、「週に3~5日」で「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	回答者数(件)	身体的にきつい(体がつらい、疲れはててしまう)	精神的にきつい(気持ちがつらくなってしまう)	時間的余裕がない	特にきつさは感じていない	無回答
ほぼ毎日	116	16.4	23.3	16.4	56.9	9.5
週に3~5日	44	6.8	18.2	31.8	59.1	—
週に1~2日	39	12.8	5.1	23.1	61.5	5.1
1か月に数日	13	—	—	—	92.3	7.7
その他	10	10.0	10.0	30.0	50.0	20.0

【平日にお世話に費やす時間別】

平日にお世話に費やす時間別でみると、「7時間以上～12時間未満」で「身体的にきつい（体がつらい、疲れはててしまう）」の割合が、「3時間以上～7時間未満」で「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	回答者数 (件)	身体的にきつい (体がつらい、 疲れはてて しまう)	精神的にきつい (気持ちが つらくなって しまう)	時間的余裕がない	特にきつさは感じて いない	無回答
3時間未満	107	8.4	14.0	17.8	69.2	2.8
3時間以上～7時間未満	71	19.7	26.8	29.6	52.1	1.4
7時間以上～12時間未満	16	25.0	6.3	12.5	56.3	6.3
12時間以上	6	33.3	50.0	16.7	50.0	—

【世話の内容別】

世話の内容別でみると、他に比べ、「薬の管理」で「身体的にきつい（体がつらい、疲れはててしまう）」の割合が、「金銭管理」で「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。また、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」、「金銭管理」、「薬の管理」で「精神的にきつい（気持ちがつらくなってしまう）」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	回答者数 (件)	身体的にきつい (体がつらい、 疲れはてて しまう)	精神的にきつい (気持ちが つらくなって しまう)	時間的余裕がない	特にきつさは感じて いない	無回答
家事（食事の準備や掃除、洗濯）	96	16.7	22.9	28.1	45.8	9.4
兄弟や姉妹の世話や保育所等への送迎など	44	11.4	13.6	15.9	63.6	13.6
身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	30	26.7	26.7	23.3	53.3	3.3
外出の付き添い（買い物、散歩など）	44	13.6	22.7	20.5	54.5	6.8
病院への付き添い	16	31.3	37.5	37.5	31.3	6.3
感情面のサポート (愚痴を聞く、話し相手になるなど)	33	21.2	45.5	36.4	39.4	—
見守り	122	11.5	18.0	16.4	63.9	4.9
通訳（日本語や手話など）	4	25.0	25.0	25.0	25.0	—
金銭管理	7	42.9	42.9	42.9	28.6	—
薬の管理	15	46.7	46.7	33.3	26.7	—
その他	21	4.8	4.8	9.5	76.2	14.3

【支援の希望※別】

支援の希望別でみると、「支援を希望しない」に比べ、「支援を希望する」で「身体的にきつい（体がつらい、疲れはててしまう）」、「精神的にきつい（気持ちがつらくなってしまう）」、「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	回答者数（件）	身体的にきつい （体がつらい、疲れはてて しまう）	精神的にきつい（気持ちが つらくなってしまう）	時間的余裕がない	特にきつさは感じて いない	無回答
支援を希望する	86	19.8	25.6	31.4	36.0	12.8
支援を希望しない	135	5.9	5.9	10.4	69.6	14.8

※問21で「自分のことについて話を聞いてほしい」から「その他」まで回答した人を「支援を希望する」、問21で「特にない」と回答した人を「支援を希望しない」としている。

【相談相手の有無別】

相談相手の有無別でみると、他に比べ、「相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいない」で「身体的にきつい（体がつらい、疲れはててしまう）」、「精神的にきつい（気持ちがつらくなってしまう）」の割合が高くなっている。また、「相談や話はしたくない」で「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	回答者数（件）	身体的にきつい （体がつらい、疲れはてて しまう）	精神的にきつい（気持ちが つらくなってしまう）	時間的余裕がない	特にきつさは感じて いない	無回答
相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいる	154	7.8	8.4	12.3	44.2	34.4
相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいない	25	28.0	40.0	28.0	28.0	20.0
相談や話はしたくない	48	18.8	25.0	33.3	31.3	22.9

【世話についての相談の経験別】

世話についての相談の経験別でみると、「相談したことがない」に比べ、「相談したことがある」で「身体的にきつい（体がつらい、疲れはててしまう）」、「精神的にきつい（気持ちがつらくなってしまう）」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	回答者数（件）	身体的にきつい （体がつらい、疲れはてて しまう）	精神的にきつい（気持ちが つらくなってしまう）	時間的余裕がない	特にきつさは感じて いない	無回答
相談したことがある	49	20.4	26.5	22.4	44.9	6.1
相談したことがない	183	10.4	13.7	18.6	63.4	9.3

【ヤングケアラーの自覚の有無※別】

ヤングケアラーの自覚の有無別でみると、「ヤングケアラーの自覚がない」に比べ、「ヤングケアラーの自覚がある」で「身体的にきつい（体がつらい、疲れはててしまう）」、「精神的にきつい（気持ちがつらくなってしまう）」、「時間に余裕がない」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	回答者数（件）	身体的にきつい （体がつらい、疲れはてて しまう）	精神的にきつい（気持ちが つらくなってしまう）	時間的余裕がない	特にきつさは感じて いない	無回答
ヤングケアラーの自覚がある	28	17.9	50.0	25.0	32.1	3.6
ヤングケアラーの自覚がない	252	9.5	9.5	14.7	50.8	27.4

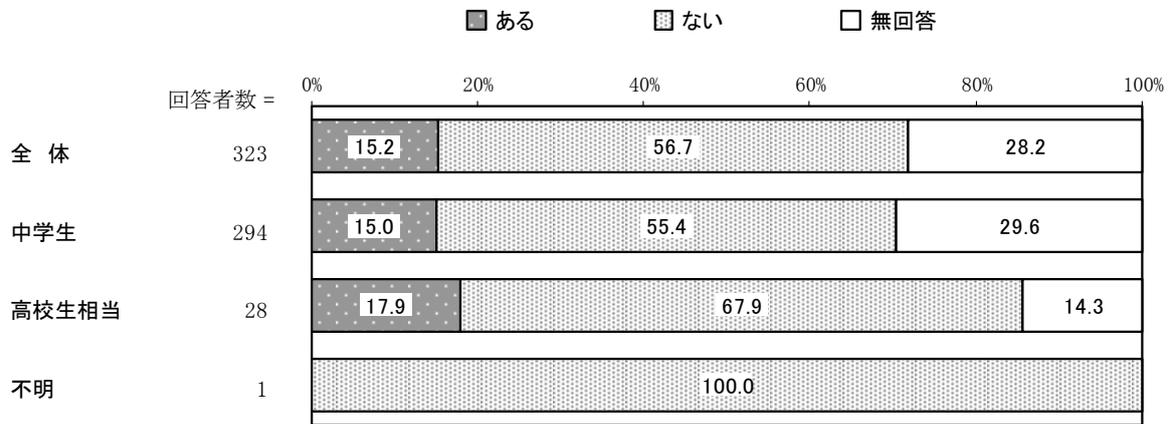
※ヤングケアラーの自覚の有無について、問9で世話をしている人が「いる」と回答し、かつ、問24でヤングケアラーの自覚が「ある」と回答した人を「自覚がある」としている。

問 18 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号を1つ選んでください)

全体では、「ある」の割合が15.2%、「ない」の割合が56.7%となっている。

中学生では、「ある」の割合が15.0%、「ない」の割合が55.4%となっている。

高校生相当では、「ある」の割合が17.9%、「ない」の割合が67.9%となっている。



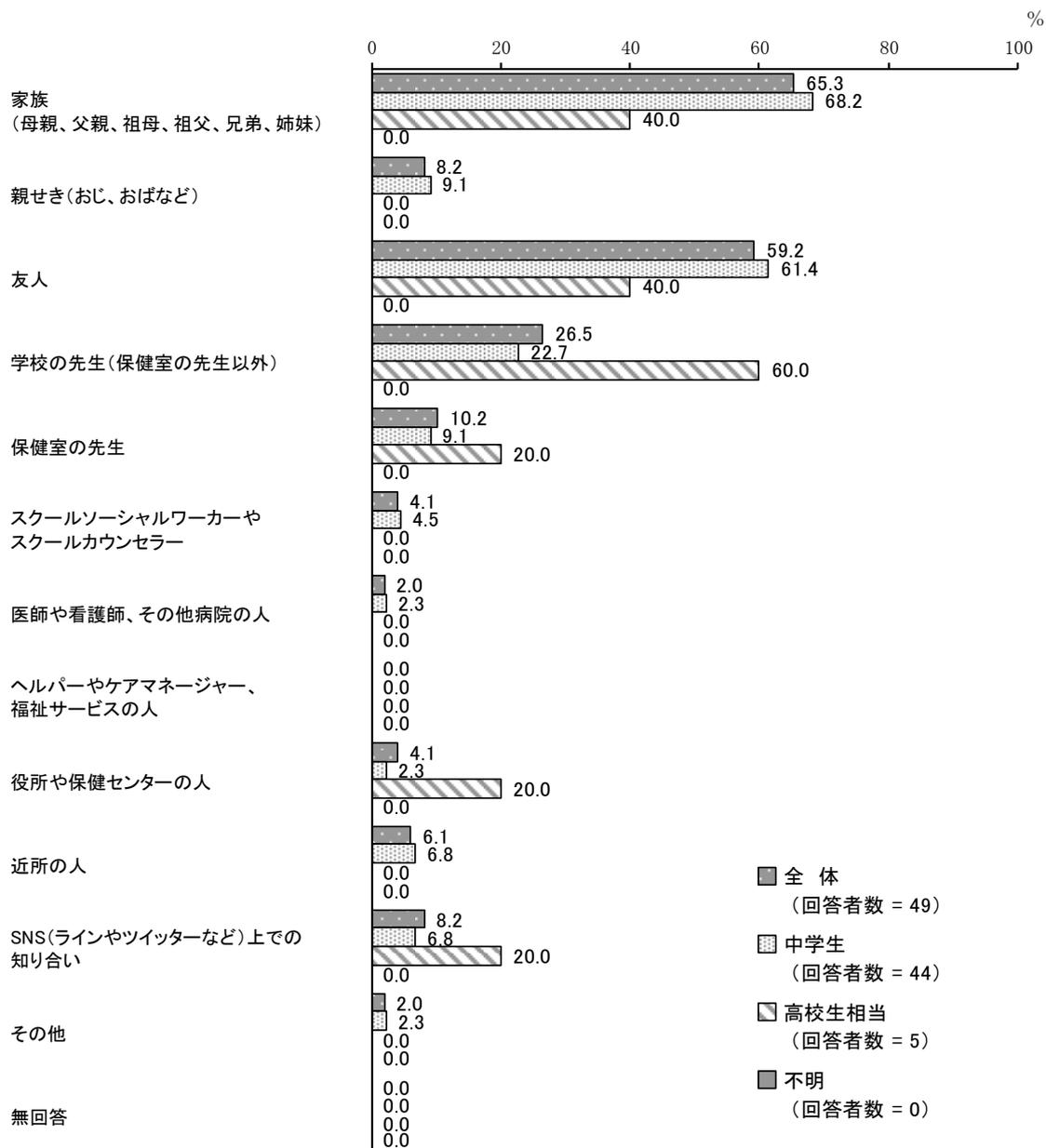
問18で「ある」と回答した人にお聞きします。

問19 それは誰ですか。(あてはまる番号をすべて選んでください)

全体では、「家族（母親、父親、祖母、祖父、兄弟、姉妹）」の割合が65.3%と最も高く、次いで「友人」の割合が59.2%となっている。

中学生では、「家族（母親、父親、祖母、祖父、兄弟、姉妹）」の割合が68.2%と最も高く、次いで「友人」の割合が61.4%となっている。

高校生相当では、「学校の先生（保健室の先生以外）」が3件、「家族（母親、父親、祖母、祖父、兄弟、姉妹）」、「友人」が2件となっている。



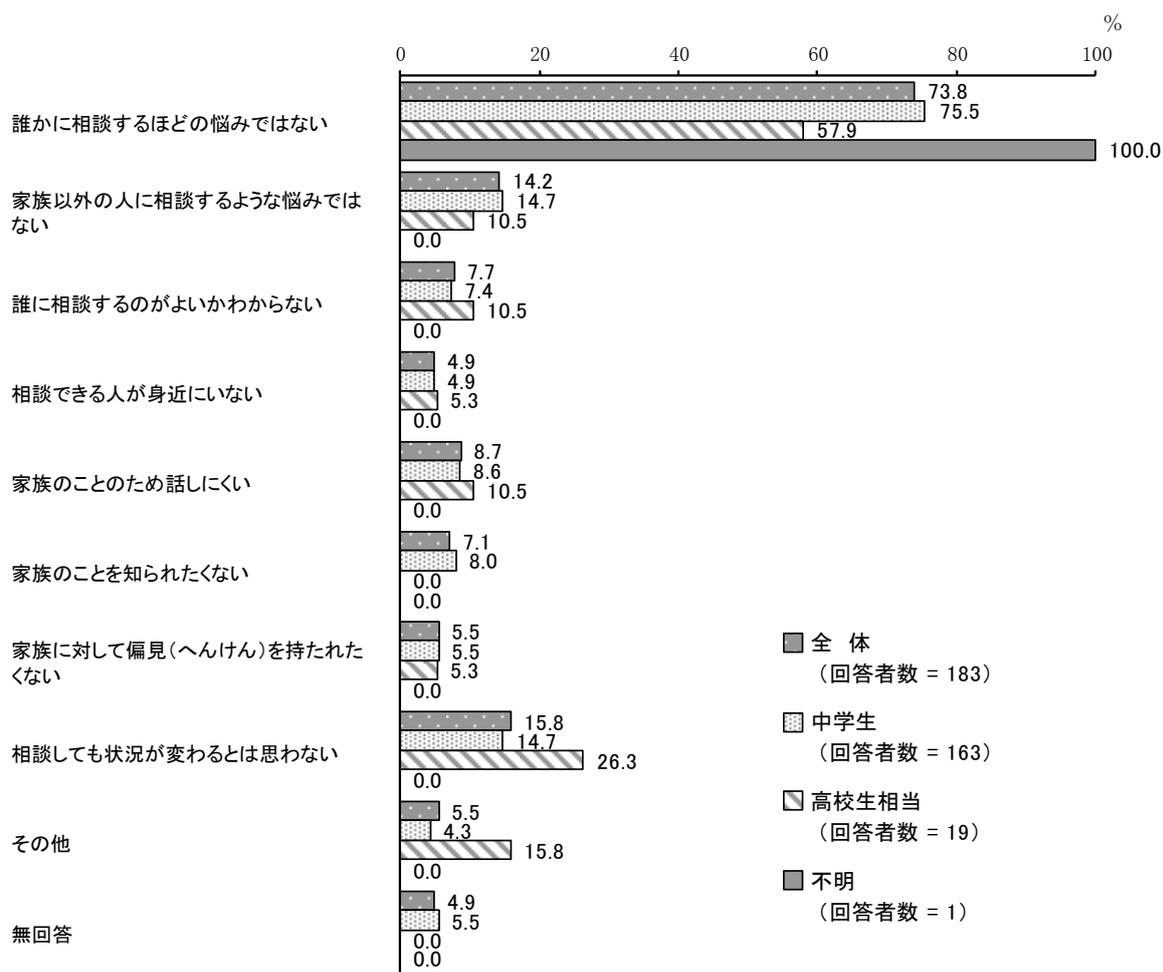
問18で「ない」と回答した人にお聞きします。

問20 相談していない理由を教えてください。
(あてはまる番号をすべて選んでください)

全体では、「誰かに相談するほどの悩みではない」の割合が73.8%と最も高く、次いで「相談しても状況が変わるとは思わない」の割合が15.8%となっている。

中学生では、「誰かに相談するほどの悩みではない」の割合が75.5%と最も高く、次いで「家族以外の人に相談するような悩みではない」、「相談しても状況が変わるとは思わない」の割合が14.7%となっている。

高校生相当では、「誰かに相談するほどの悩みではない」の割合が57.9%と最も高く、次いで「相談しても状況が変わるとは思わない」の割合が26.3%となっている。



<中学生 その他意見>

- ・悩み事がないから
- ・面倒だから
- ・特にない 等

<高校生相当 その他意見>

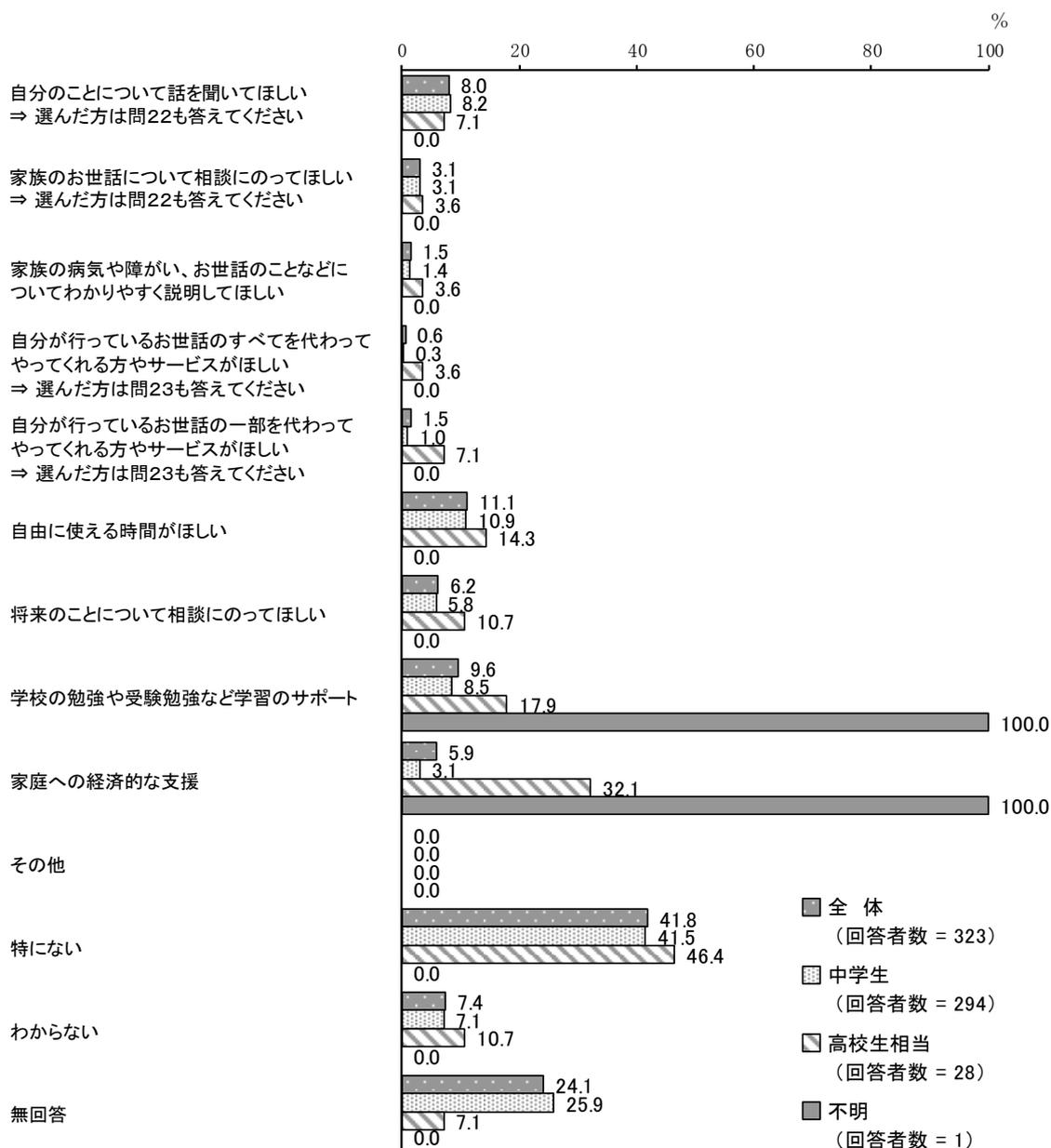
- ・悩みがないから
- ・それが当たり前だと思っているから

**問 2 1 学校や周りの大人に助けてほしいことや、手伝ってほしいことはありますか。
(あてはまる番号をすべて選んでください)**

全体では、「自由に使える時間がほしい」の割合が 11.1%、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」の割合が 9.6%となっている。また、「特にない」の割合が 41.8%となっている。

中学生では、「自由に使える時間がほしい」の割合が 10.9%、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」の割合が 8.5%となっている。また、「特にない」の割合が 41.5%となっている。

高校生相当では、「家庭への経済的な支援」の割合が 32.1%、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」の割合が 17.9%となっている。また、「特にない」の割合が 46.4%となっている。



【世話で感じているきつさ別】

世話で感じているきつさ別でみると、それぞれの区分で「自由に使える時間がほしい」の割合が高くなっている。

単位：％

区分	回答者数(件)	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを代わってやってくれる方やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってやってくれる方やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	将来のことについて相談にのってほしい	サポート	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	その他	特にない	わからない	無回答
身体的にきつい(体がつらい、疲れはててしまう)	29	20.7	13.8	3.4	—	6.9	37.9	13.8	13.8	10.3	—	—	27.6	10.3	3.4
精神的にきつい(気持ちがつらくなってしまう)	38	18.4	7.9	7.9	5.3	5.3	28.9	13.2	21.1	18.4	—	—	21.1	18.4	2.6
時間的余裕がない	45	15.6	4.4	4.4	—	—	44.4	15.6	22.2	17.8	—	—	31.1	8.9	—
特にきつさは感じていない	139	7.9	1.4	—	—	0.7	6.5	7.9	9.4	5.0	—	—	67.6	10.1	—

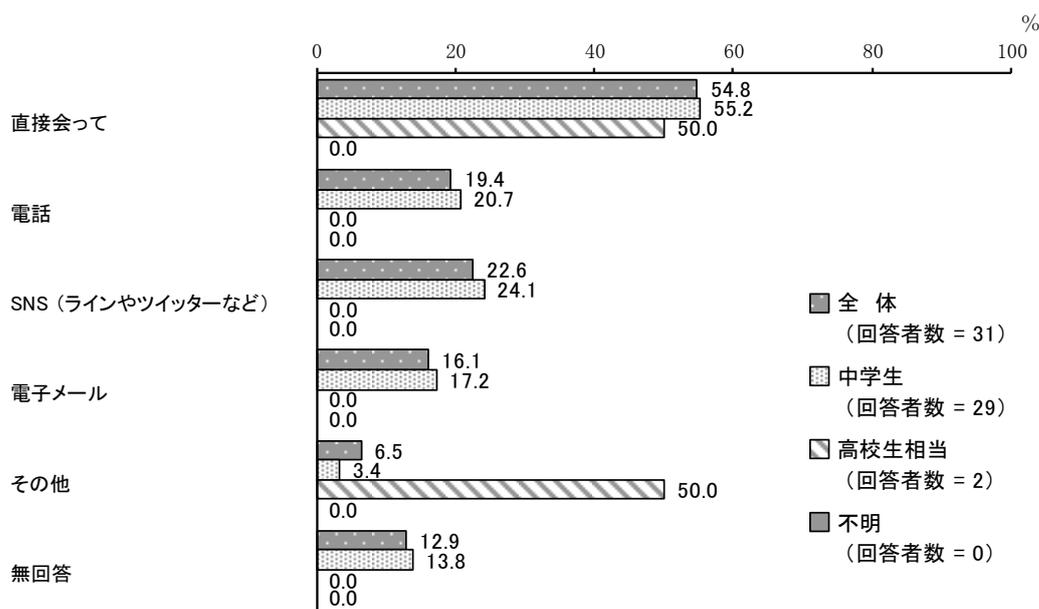
問22は、問21で「自分のことについて話を聞いてほしい」または「家族のお世話について相談にのってほしい」を回答した人にお聞きします。

**問22 どのような方法で話を聞いてほしい、相談にのってほしいですか。
(あてはまる番号をすべて選んでください)**

全体では、「直接会って」の割合が54.8%と最も高く、次いで「SNS（ラインやツイッターなど）」の割合が22.6%となっている。

中学生では、「直接会って」の割合が55.2%と最も高く、次いで「SNS（ラインやツイッターなど）」の割合が24.1%となっている。

高校生相当では、「直接会って」、「その他」が1件となっている。



<高校生相当 その他意見>

- ・忙しいため、自宅に相談出来る人が来てほしい

問23は、問21で「自分が行っているお世話のすべてを代わってやってくれる方やサービスがほしい」または「自分が行っているお世話の一部を代わってやってくれる方やサービスがほしい」を回答した人にお聞きします。

問23 かわってほしい内容は、具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか。

【問21で「自分が行っているお世話のすべてを代わってやってくれる方やサービスがほしい」を選んだ人】

<中学生>

- ・自分が習い事に行くときや、遊びたいとき、弟が帰ってくる時間には家にいないと行けないが、弟の帰宅の時間がわからないため代わってほしい。

【問21で「自分が行っているお世話の一部を代わってやってくれる方やサービスがほしい」を選んだ人】

<高校生相当>

- ・日中の見守り

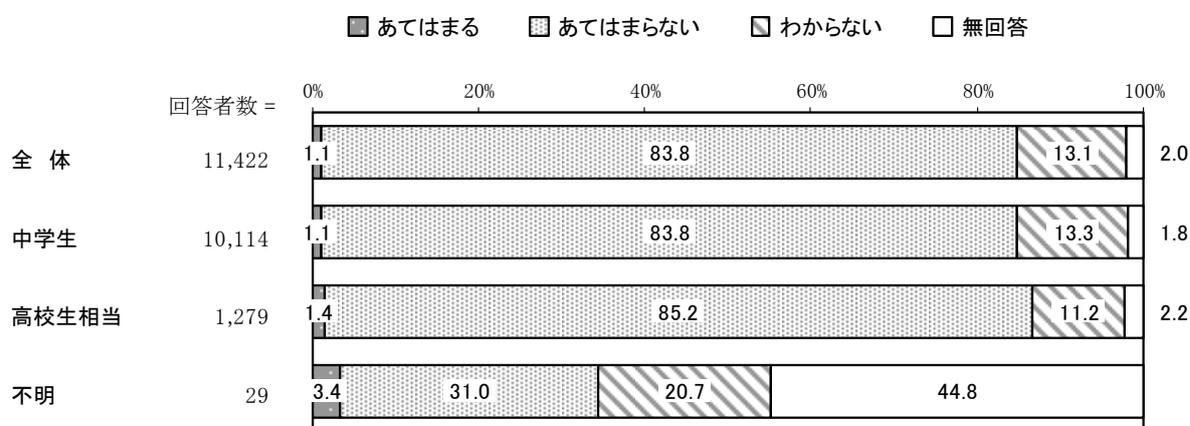
項目4 ヤングケアラーについて

問24 「ヤングケアラーについて」を読んで、あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(あてはまる番号を1つ選んでください)

全体では、「あてはまらない」の割合が83.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が13.1%となっている。

中学生では、「あてはまらない」の割合が83.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が13.3%となっている。

高校生相当では、「あてはまらない」の割合が85.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が11.2%となっている。

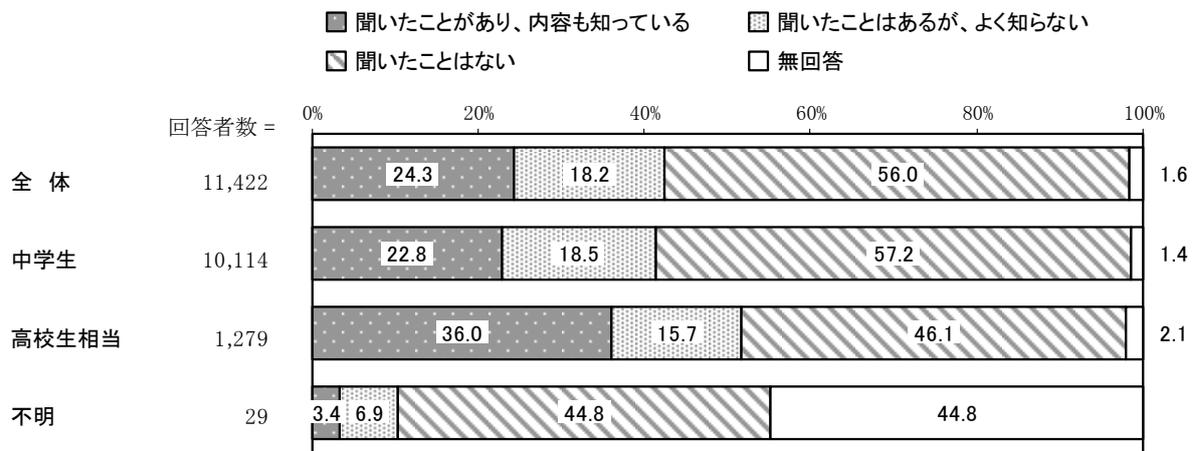


**問 2 5 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。
(あてはまる番号を1つ選んでください)**

全体では、「聞いたことはない」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が 24.3%となっている。

中学生では、「聞いたことはない」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が 22.8%となっている。

高校生相当では、「聞いたことはない」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が 36.0%となっている。



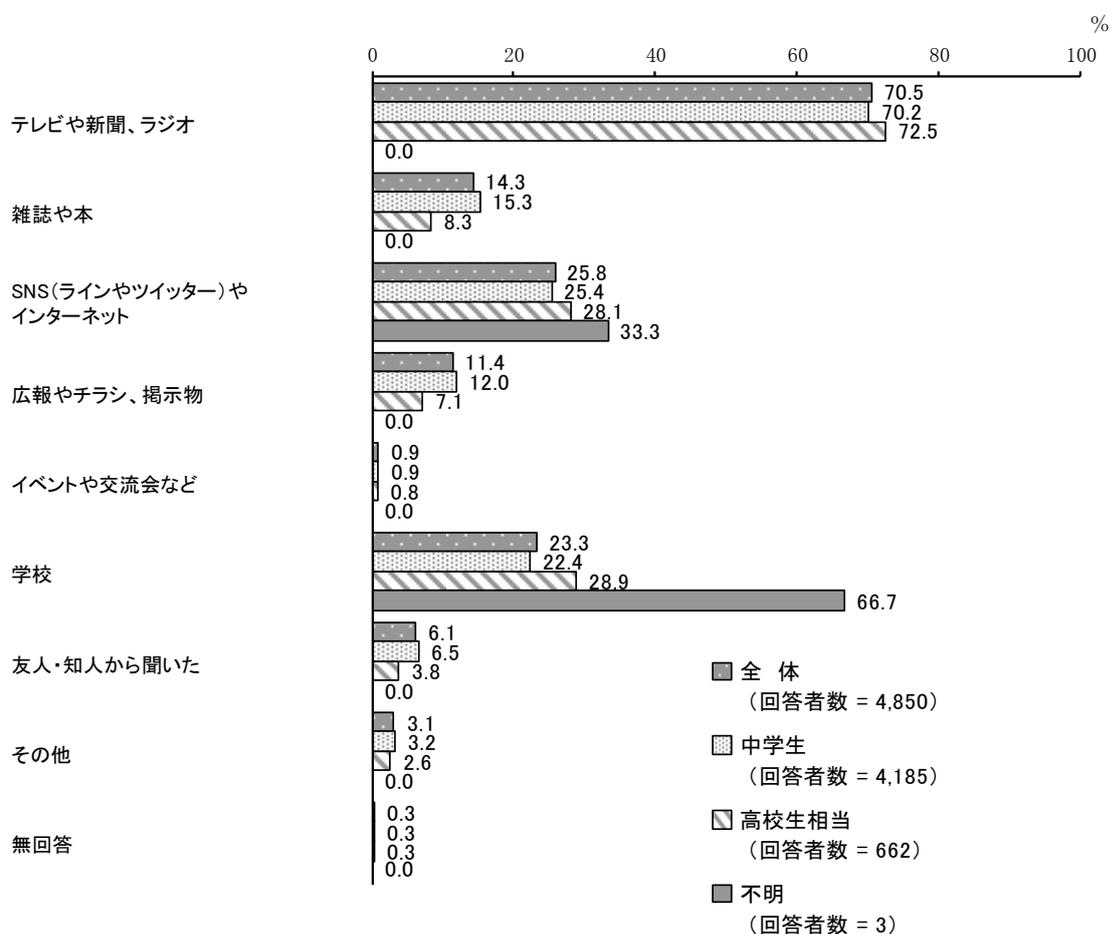
問26は、問25で「聞いたことがあり、内容も知っている」または「聞いたことはあるが、よく知らない」を回答した人にお聞きします。

問26 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。
 (あてはまる番号をすべて選んでください)

全体では、「テレビや新聞、ラジオ」の割合が70.5%と最も高く、次いで「SNS（ラインやツイッター）やインターネット」の割合が25.8%となっている。

中学生では、「テレビや新聞、ラジオ」の割合が70.2%と最も高く、次いで「SNS（ラインやツイッター）やインターネット」の割合が25.4%となっている。

高校生相当では、「テレビや新聞、ラジオ」の割合が72.5%と最も高く、次いで「学校」の割合が28.9%となっている。



問27 ヤングケアラーの手助けをしていくために必要だと思うことや、要望など自由に書いてください。

1 中学生

分類回答	件数
1. ヤングケアラーに対する意見・感想	645
2. 話を聞いてほしい、理解してほしい	4
3. 要望、求める支援 (世話をしている家族がいると回答した子どもの意見)	21
4. 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり	124
5. 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重	50
6. 学校におけるサポートや配慮	22
7. 周囲の大人の理解や寄り添い	131
8. その他支援の充実等	554
9. ヤングケアラーの普及啓発に向けて必要なこと・意見	127
10. 困っていること	1
11. その他	59

※以下に記載する意見は、原文のままではないが、なるべく回答者の表現を用いる形としている。

【分類別の意見（一部抜粋）】

1 ヤングケアラーに対する意見・感想

- ・ 自分にできることを積極的に支援し、その人が困っていたら相談に乗ってあげる。またその人が息抜きできるような支援もする。
- ・ 大人の人が間に入ってもらうなど。
- ・ 手助けするときに、その人の役に立てるようにその人の気持ちに寄り添いながら生活していくといいと思いました。自分だけでやるのではなく困っていたら身近にいる人に相談しながらヤングケアラーをしていくといいんじゃないかと思いました。
- ・ 友達がヤングケアラーかもしれないと思ったら、その子にヤングケアラーのことを伝えたり、周囲の大人に伝える。

2 話を聞いてほしい、理解してほしい

- ・ ヤングケアラー自身の、勉強や友達関係など、悩みを聞き、その問題を解決に導く。お世話されている人の世話を簡単に依頼できるようなシステムや団体を作る。
- ・ 相談などに乗る。
- ・ ヤングケアラーの子たちの話を聞く。
- ・ 声掛けが大事だと思います。選挙でヤングケアラーの呼びかけを心がけている方を選ぶ。

3 要望、求める支援(世話をしている家族がいると回答した子どもの意見)

- ・ 市や県が家庭状況を把握して保護する。
- ・ 親の給与、休暇を増やして、時間をつくる。
- ・ こういったアンケートを行うことや、テレビで見たのですが話を聞く人がいることをどんどん知らせてお世話などをしている人の将来を壊さないことを一番に考えることが大切だと思いました。
- ・ 勉強をしている間に何かを頼まれるから。少し家事を手伝う手助けをしてほしい。
- ・ 例えば、子ども関連だったら子どもを育てる余裕がないなら作らないというのが一番だと思う。

4 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

- ・ 悩みがあったら悩みを聞いたり、困っていることがあったら助けてあげる。相談しやすい環境をつくることが大切。
- ・ ヤングケアラーの子が気軽に相談できるような場を増やす。
- ・ 悩んでいることを聞き、相談に乗ったり、頼れる行政機関を紹介する。
- ・ 困っているなら楽に相談できるコールセンターを作ってほしい。
- ・ ヤングケアラーに困っている人を助ける支援が必要。相談窓口などを多く作る。

5 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重

- ・ 無理をさせない。自由を尊重する。
- ・ その人のことを理解し尊重する。
- ・ 子ども自身がやりたいことを優先させられるようにする。親の役目は親がするようにする。
- ・ ヤングケアラーが自分のしたいことができる環境を作ることが大切だと思う。
- ・ その子ども「ヤングケアラー」がどうしたいのかを聞いてこれからをどうやって過ごすかを話し合っってその子の意見も尊重しながら決めればよいと思う。でもやっぱり自分の意見を言えない子もいると思うからそれはそれでどうするか考える事も大事だと思う。

6 学校におけるサポートや配慮

- ・ 家で勉強できない代わりに学校で勉強を個別に教えてもらえる環境を作ることが必要だと思った。
- ・ 子どもが助けを求めやすいように、学校などで相談しやすい環境を作る。
- ・ ヤングケアラーについて学校などの教材に載せる。
- ・ 勉学が遅れてしまってそうだからリモートなどで一对一の授業などをしたほうが良いと思う。
- ・ ヤングケアラーの人は学校に要請して、学校での負担を少し減らす。

7 周囲の大人の理解や寄り添い

- ・ 義理でもいいから誰かが母、父、兄、姉になり、支える。
- ・ 一人で全部家庭の事等を背負わずに、周りに協力してくれる人と一緒に家事をしたりするのが良いと思った。家庭によって何らかの事情がある家庭もあると思うから、周りが勝手にその人やその人の家族を傷つけないために一つ一つの言動を注意することが大切だと思った。
- ・ その家の大人だけでなく、周囲の大人が対処する。
- ・ 周りの人の配慮。
- ・ 身近な人が気づいてあげて、手助けをしていくこと。子どもだけの負担にしないこと。

8 その他支援の充実等

- ・ 国の補助を受ける。
- ・ ヤングケアラーが自分の時間を作ることができるように国が経済的支援を行ったり、ヤングケアラーが相談できる場所を学校などに作るなどしたほうが良いと思います。
- ・ ヤングケアラーを手伝うボランティア活動等を行う。
- ・ ヤングケアラーが世話をしている家族を預かって世話をする施設つくれば良いと思った。
- ・ 介護や介助を必要としている人や家族のもとに介護士を行かせたり、給付金を与えたりすれば良いと思う。

9 ヤングケアラーの普及啓発に向けて必要なこと・意見

- ・ ヤングケアラーという言葉みんなに知ってもらえるようにニュースなどで、たくさん報道したほうが良いとおもいます。私の今住んでいるところでは、あまりヤングケアラーという言葉は聞きません。
- ・ 気づいてあげるために、このようなアンケートを取る。
- ・ ヤングケアラーの存在や大変なことなどを多くの人に知らせたり、居場所を作ったりする。
- ・ その前にヤングケアラーの存在を多くの人に知って貰う必要があると思う。手助けとかを言う前にそこが大事だと思う。
- ・ もっとこういう調査を増やす。

10 困っていること

- ・ 悩みがある。

11 その他

- ・ どんなことが必要かわかりません。
- ・ 子どもがおとなの気を使う世の中にはなあってほしくない
- ・ ヤングケアラーがわからない。
- ・ 船橋市のみなさんいつもありがとうございます。これからも困っている人などたすけられるようにがんばってください。
- ・ まずは自分のことをしっかりできる人になる。

2 高校生

分類回答	件数
1. 話を聞いてほしい、理解してほしい	12
2. ヤングケアラーに必要なだと思う支援	47
3. 相談体制の充実、相談しやすい、話しやすい環境づくり	37
4. 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重	1
5. 学校におけるサポートや配慮	36
6. 周囲の大人の理解や寄り添い	33
7. その他支援の充実等	106
8. ヤングケアラーの普及啓発に向けて必要なこと意見	29

※以下に記載する意見は、原文のままではないが、なるべく回答者の表現を用いる形としている。

【分類別の意見（一部抜粋）】

1 話を聞いてほしい、理解してほしい

- ・ ヤングケアラーが沢山いるということ、世間や国が知る必要があると思う。
- ・ 積極的に子どもと話す時間を第三者の大人が作るべき。
- ・ 私自身はヤングケアラーではないので、友達とかにヤングケアラーの子がいたとして、話を聞いても、あまり詳しくは理解することができないと思う。なので、どうしたらヤングケアラーの子の負担を減らせるのかを教えて欲しいかもしれない。
- ・ ヤングケアラーの存在や実態をニュース、本などを通してより多くの人に知らしめることが必要だと思う。そうすれば自分がヤングケアラーだと気づく子どもが増え、支援の目も行き届きやすくなるから。

2 ヤングケアラーに必要なだと思う支援

- ・ 行政が本人が望んでいないなら素早く気づいてあげること。そして援助をすること。気づけるようにするためにめんどくさく思われるかもしれないが、こまめに手紙などを配布して子ども自身に普通ではない、変わりたいと思わせるようにする。思っても不安があるかもしれないからそれをどのようにして払拭するかを考える。
- ・ 政治家の給料を減らしてヤングケアラーの方に回せば良いと思います。
- ・ もう少し自分の効率を考える。
- ・ 資金の援助。

3 相談体制の充実、相談しやすい、話しやすい環境づくり

- ・ 相談ができる環境を作ってあげることが必要。
- ・ ヤングケアラーにとって同年代の人は1番近い存在で、1番相談しやすい存在でもあります。大人がスクールソーシャルワーカーの普及や先生方への教育など支援体制を整えていくことは不可欠ですが、まずヤングケアラーのそばにいる児童生徒がヤングケアラーとはどんな存在なのか、何に困ってるのか正しい理解をすることが大切だと思います。正しい理解とは、ヤングケアラーは決して可哀想な存在ではなくむしろ尊敬すべき存在だということ、ヤングケアラーの家族に悪気があってそのような家庭状況になっている訳では無いということです。
- ・ 同年代が正しい理解をしておけば、ヤングケアラーはきっと相談しやすくなると思いますし、ヤングケアラーだと自分自身で気づいていない人にも自分は支援を得られる存在なんだと自覚させることも出来ると思います。
- ・ ヤングケアラーの方が気軽に悩みを打ち明けられるカウンセラーや、金銭的な支援ができる仕組みを作ると良いと思う。

4 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重

- ・ 様々な方法でヤングケアラーが助けを求めることを可能にする。

5 学校におけるサポートや配慮

- ・ 学校等でのアンケートを通して本人がヤングケアラーであることを自覚できるようにし、助けを求めることが出来るような環境を作ること。
- ・ 教員の支援。
- ・ 学校に相談できるカウンセラーを配置すること。
- ・ 職場や学校が状況を把握することは大前提で必要であるが、学校で対応をするとしても教職員の労働状況があまり良い状態ではなく、一人ひとりに時間をさきにくいというのも事実だと思う。全員が何かしら不安や問題を抱えながら生活しているのだから、助け合い、支え合い、補え合える社会の仕組みをどうにか作れたら素晴らしいだろう。その不安や問題が身近なものでないとき、SOSにたいしたことはないのでは、などと感じてしまうから、理解を広めていくことも大切だと思った。

6 周囲の大人の理解や寄り添い

- ・ 児童生徒がヤングケアラーであることを学校が察知することがまず重要。これには、先生がひとりひとりの家庭状況を見極めることが必要で、定期的な個別面談などでしっかりと寄り添い、話を聞かないといけない。その上で、小学校から高校まで、公的支援や相談する場所があることを伝え続けることが必要。また、そもそも介護の分野では家族がいることで公的支援が手薄になることもあると思うので、「子どもの権利を守る」観点から公的支援の判定基準を再考する必要があると思う。例えば、身内に介護者はいるものの学業がある場合は介護者がいないものとして扱ったり、ケアを経済的に受けやすくするために支援額を増額するなど。
- ・ 大人が、子どもが自由な時間を十分にとれるように、大人どうしで助け合うこと。
- ・ 第三者が介入できるような仕組みになれば負担は軽くなって皆と同じ生活に近づくとと思う。
- ・ 周りの大人達をどうにかする。

7 その他支援の充実等

- ・ 家庭の状況を把握してお年寄りにつけるようなお手伝いができる大人を派遣できるようにすること。
- ・ お手伝いをしてくれる施設などを増やしたり、お手伝いしてくれる人を県や国が雇ってサービスとしてお手伝いをしてもらう。
- ・ もっと、情報を知る場所を増やすこと。
- ・ 募金をする。

8 ヤングケアラーの普及啓発に向けて必要なこと意見

- ・ ヤングケアラーに当てはまる子どもには学校に行けていない、行ける機会が少ない子も多いと思うので、学校外の場でのヤングケアラーについての情報発信を増やすべきではないかと感じた。
- ・ その事が当たり前となってヤングケアラーに知らずになってる可能性ってあると思うので、その人の生活を知る必要があるが、その書き方の一つとしてこのようなアンケートは大事だと思います。
- ・ 今ヤングケアラーの子どもがいなくなることはできないと思う。それぞれの家庭に第三者が干渉してその環境を変えるのは非常に困難だから。1番の原因が親ということも大きい。そのため今の学生の世代から教育していき、いずれ子ども自身のやりたいことが自由にできる未来になることを待つべきなのではないだろうか。私はヤングケアラーという言葉は初めてこのアンケートで知ったし、他にも知らない学生も沢山いると思う。
- ・ 自分自身ヤングケアラーという言葉は今回初めて知ったので学校の授業内で取り入れ、もっとたくさんの人に知ってもらい多くの人の理解や周りが相談できる雰囲気作りをすることが出来たらいいなと思いました。そして手軽に電話が出来るようにしたり、そのために各学校に手紙を配布するなどすればより改善する人が増えるのではと思いました。